

平成26年度 第2回 関東甲信越地区眼科医会連合会連絡協議会開催報告			
栃木県眼科医会会長 原 裕（大田原市）		場所：宇都宮グランドホテル	・第51回関東甲信越眼科学会懇親ゴルフコンペの開催
●日 時：平成27年3月1日(日) 13:00～15:00		10) その他	日時：平成27年6月13日（土）
●場 所：ホテルキャメロットジャパン 4F フェアウィンド		4. 閉会の挨拶	場所：大洗ゴルフ倶楽部
●司 会 奥脇 賢一（神奈川県）		小口 和久（神奈川県）	
1. 閉会の挨拶	るメーカーとの共催事業、いわゆる集談会等において医会と共催メーカーとの費用の按分比率（費用分担割合）について各県の実情をご教示お願い致します。	平成27年度関東甲信越眼科医会連合会事業計画（案）	・第51回関東甲信越眼科学会の開催
関プロ世話人 種田 芳郎	2) 地域包括ケアシステムに代表される在宅医療に、眼科医が関与されている例がありましたら教えていただきたい。	・関東甲信越地区眼科医会連合会各県会長会議の開催	日時：平成27年6月14日(日) 9：00～12：00
2. 黙祷	3) 各県より報告事項	第1回	場所：水戸京成ホテル2階「瑠璃東」
	神奈川県：	日時：平成27年6月13日(土) 16：00～17：00	1) 小切開逢着時代の白内障手術トラブルマネージメント
	1) 平成27年度「目の健康講座」後援名義について	場所：水戸京成ホテル4階「若葉」	小沢眼科内科病院 橋本 宰 副院長
	厚生労働省・日本医師会・日本失明予防協会・日本アイバンク協会	第2回	2) アカントアメーバ角膜炎の制圧を目指して
	埼玉県：	日時：平成28年3月6日(日) 11：00～12：00	筑波大学医学医療系眼科
	1) 平成26年度「目の健康講座」（彩の国目の祭典2014）	場所：ホテルキャメロットジャパン	加治 優一 准教授
	千葉県：	・関東甲信越地区眼科医会連合会連絡協議会の開催	3) 手術合併症から学ぶ硝子体手術
	1) 第50回関東甲信越学会について	第1回	東京医科大学茨城医療センター眼科
	2) 平成27年度「目の健康講座」市民公開講座について	日時：平成27年6月13日(土) 17：00～18：30	岩崎 琢也 教授
	茨城県：	第2回	・第50回関東甲信越地区眼科医会連合会医療従事者講習会の開催
	1) 第51回関東甲信越眼科学会について	日時：平成28年3月6日(日) 13：00～15：00	日時：平成27年6月14日(日) 9：00～12：00
	4) 日眼医報告	場所：ホテルキャメロットジャパン	場所：水戸京成ホテル2階「瑠璃西」
	小沢 忠彦（常任理事）		1) 外国人患者対応セミナー
	5) 日眼医代議員総務・経理常任委員会報告		高嶋 愛里 氏
	総務 原 裕（代議員）		2) 医療現場でのクレーム対応
	経理 小口 和久（代議員）		平塚 俊樹 氏
	6) 関プロ会報編集委員会報告		3) iPhone、iPadを使ったあたらしいデジタルビジョンケア
	奥脇 賢一（神奈川県）		東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野
	7) 第51回関東甲信越眼科学会について		三宅 琢 先生
	茨城県眼科医会		
	8) 第52回関東甲信越眼科学会について		
	栃木県眼科医会		
	9) 次回開催日時・場所		
	日時：平成28年6月18日(土)		
長野県：		・第51回関東甲信越眼科学会懇親会の開催	・会報の発行
1) 日眼生涯教育事業の各県で開催されてい		日時：平成27年6月13日(日) 19：00～21：00	会報編集委員会の開催
		場所：水戸京成ホテル2階「瑠璃」	日時：平成28年2月7日(日)
			場所：新横浜プリンスホテル



平成27年度栃木県眼科医会総会開催報告

総務担当理事 福島 一 哉（宇都宮市）

- 日 時：平成27年5月10日(日)
午前11時30分～午後12時30分
- 場 所：自治医科大学研修センター
- 出席数：A B 会員69名 C 会員12名 計81
委任状 27
合計108名

司会：総務担当副会長 吉澤 徹
総会開催に先立って、平成26年度に亡くなられた 田口太郎先生、石井章次先生、久保田芳雄先生に黙祷を捧げた

1. 開会挨拶 会長 原 裕

2. 議事

(1)報告

- ①平成26年度栃木県眼科医会会務報告
総務担当副会長 吉澤 徹
- ②平成26年度栃木県眼科医会会計報告
経理担当理事 城山 力一
- ③平成26年度栃木県眼科医会会計報告監査報告
監事 宮下 浩
- ④平成27年度第1回日本眼科医会定例臨時代議員会報告
代議員 原 裕

(2)協議

- ①平成27栃木県眼科医会事業計画の件
総務担当副会長 吉澤 徹
- ②平成27年度栃木県眼科医会予算の件
経理担当理事 城山 力一
- ③平成27年度役員の件
会長 原 裕
- ④栃木県眼科医会ホームページ改訂の件
会長 原 裕

(3)その他

- ①第52回関東甲信越眼科学会の件
会長 原 裕

議事は報告・協議とも賛成多数で決議された

4. 健保研究会

司会：保険担当理事 井岡 大治

5. 閉会挨拶

副会長 旭 英

平成26年度栃木県眼科医会会務報告

栃木県眼科医会総会

総務担当理事 福島 一 哉（宇都宮市）

1. 総務関係

(1)会員数（H27. 3. 31. 現在）

A 会員65名、B 会員84名、C 会員13名、M 会員 8 名、合計170名

(2)会員の異動

入会者：5

- C 古 藪 幸貴子（獨協医大眼科）
- C 宮 島 大 河（獨協医大眼科）
- C 西 田 奈 央（獨協医大眼科）
- C 伊野田 悟（自治医大眼科）
- C 片 岡 なつき（自治医大眼科）

転入者：5

- B 水 流 忠 彦（国際医療福祉大学眼科） 東京都より
- B 齋 藤 由 香（小山市 斉藤眼科医院） 埼玉県より
- B 富 永 聡 子（自治医科大学） 東京都より
- B 佐々木 誠（足利赤十字病院） 神奈川県より
- A 秋 草 正 子（佐野市 石井眼科医院） 東京都より

転出者：5

- B 春野 功（国際福祉大学病院眼科） 秋田県へ
- B 高 橋 佳 二（獨協医大眼科） 青森県へ
- B 松 本 佳 浩（獨協医大眼科） 北海道へ
- B 奥 村 義 彦（足利赤十字病院眼科） 東京都へ
- B 加 藤 浩 士（足利赤十字病院眼科） 埼玉県へ

退会者：3

- A 田 口 太 郎（宇都宮市 田口眼科）
- A 石 井 章 次（佐野市 石井眼科）
- A 久保田 芳 雄（宇都宮市 久保田眼科）

異動者：

①会員種別の変更

- B→A 関 本 慎一郎（市貝町 関本眼科医院）
- A→B 関 本 俊 男（市貝町 関本眼科医院）
- B→A 井 上 直 紀（大田原市 井上眼科医院）
- A→B 井 上 成 紀（大田原市 井上眼科医院）

②勤務先変更

- B 八 木 加寿子（上都賀総合病院眼科）
- B 山 田 徹 人（なかまる眼科）
- B 鈴 木 隆次郎（宇都宮市 早津眼科医院）

③自宅住所変更

- B 上 田 昌 弘（国際医療福祉大学塩谷病院）
B 堤 瑛 理（国際医療福祉大学病院眼科）
B 竹 澤 美貴子（宇都宮市 伊野田眼科クリニック）

(3)定例総会開催（１回）H26. 5. 11(日) 於：自治医大

(4)理事会開催（６回）

- 第１回 H26. 5. 21(水) 於：宇都宮市医師会館
第２回 H26. 7. 16(水) 〃
第３回 H26. 9. 3(水) 〃
第４回 H26. 11. 19(水) 〃
第５回 H27. 1. 21(水) 於：宇都宮市医師会館
第６回 H27. 4. 15(水) 〃

(5)中央及び関ブロ諸会議に出席

- H26. 4. 5(土) 平成26年度日眼医定例臨時代議員会（東京） 原（裕）、吉澤（徹）出席
H26. 4. 6(日) 〃 原（裕）、吉澤（徹）出席
H26. 4. 6(日) 第１回日眼医代議員会総務経理合同常任委員会（東京） 原（裕）出席
H26. 6. 14(土) 平成26年度第１回関ブロ支部長会議、関ブロ連絡協議会開催（千葉市） 宮下、原（裕）、出席
H26. 6. 14(土) 平成26年度第１回関ブロ男女共同参画委員会開催（千葉市） 高橋（雄）、大柳、細川出席
H26. 6. 22(日) 第２回平成26年度日眼医定例臨時代議員会（東京） 原（裕）、吉澤（徹）出席
H26. 10. 19(日) 日眼医都道府県眼科医会連絡会（東京） 原（裕）出席
H27. 1. 25(日) 日眼医代議員会総務経理合同常任委員会（東京） 原（裕）出席
H27. 3. 1(日) 平成26年度第２回関ブロ支部長会議、関ブロ連絡協議会（横浜） 宮下、原（裕）、吉澤出席

2. 経理関係

- (1)栃木県アイバンクの献眼運動協力募金
(2)会費の銀行口座よりの自動引落とし方式の推進

3. 学術関係

(1)栃木県眼科集談会

- 第67回 H26. 5. 11(日) 於：自治医大 75名出席
一般演題：８題
特別講演：「iPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植：ヒト臨床試験および拒絶反応対策」
杉田 直 先生
（理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト）
第66回 H26. 11. 15(金) 於：宇都宮市医師会館 74名出席
一般講演：７題
特別講演：「眼内サイトカイン濃度からみた加齢黄斑変性治療」
高橋 秀徳先生（自治医科大学眼科学講座 講師）

(2)栃木県眼科医会研究会

- 第51回 H26. 6. 27(金) 於：宇都宮グランドホテル、（ノバルティスファーマと共催） 42名出席
1. 「網膜静脈閉塞症の診療アップデート」

- 柳 靖雄 先生（東京大学医学部眼科学教室 講師）
2. 「矯正視力1.0を目指す糖尿病黄斑浮腫の治療」
村田 敏規 先生（信州大学医学部眼科学教室 教授）
第52回 H27. 1. 16(金) 於：宇都宮グランドホテル、わかもと製薬株式会社と共催
1. 「糖尿病黄斑浮腫治療アップデート」
須藤 史子 先生（埼玉県済生会栗橋病院眼科部長）
2. 「難治症例への小切開硝子体手術の適応」
井上 真 先生（杏林大学 眼科（杏林アイセンター）教授）

(3)獨協医大眼科栃眼医合同講演会

- 第37回 H26. 7. 27(金) 於：獨協医大 70名参加
1. 「ドライアイに潜む眼瞼痙攣」
後関 利明 先生（北里大学メディカルセンター 眼科部長）
2. 「授考えよう流涙症！始めよう涙道手術！」
井上 康 先生（医療法人眼科康誠会 井上眼科 理事長）

(4)栃木眼科セミナー

- 第22回 H27. 2. 27(金) 於：宇都宮グランドホテル、自治医大・興和創薬共催、当会後援 51名参加
ミニレクチャー：「24時間眼圧測定デバイス：過去、現在、未来」
原 岳 先生（原眼科病院 院長）
特別講演：「緑内障診療の現状と将来」
山本 哲也 先生（岐阜大学大学院医学系研究科眼科学 教授）

(5)下野眼科談話会

- 第24回 H27. 3. 27(金) 於：宇都宮グランドホテル、獨協医大主催、当会後援 75名参加
特別講演１：「iPhone、iPadを使った新しいデジタルビジョンケア」
三宅 琢 先生（東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野）
特別講演２：「OCTを併用する眼底読影の実際」
石田 恭子 先生（東邦大学医療センター大橋病院眼科 准教授）

(6)栃木県内科眼科関連疾患懇話会

- 第８回 H26. 10. 9(木) 宇都宮グランドホテル 60名参加
講演１：「白内障治療最前線」
小早川信一郎 先生（日本医科大学 多摩永山病院眼科 准教授 診療部長）
講演２：「糖尿病合併症と糖化 ーadvancedglycationendproducts（AGEs）とは？」
麻生 好正 先生（獨協医科大学 内分泌代謝内科 教授）

(7)栃木ぶどう膜炎カンファレンス

- 第４回 H26. 10. 3(金) 於：宇都宮グランドホテル 55名参加
特別講演：「Fuchs虹彩炎の話」
藤野 雄次 先生（JCHO東京都新宿メディカルセンター部長）

(8)栃眼医獨協眼科病診連携の会

- 第３回 H26. 10. 10(金) 於：宇都宮グランドホテル 54名参加
「眼内レンズアップデート2014」
永田万由美 先生（獨協医科大学眼科 講師）
「白内障手術後の管理ー術後炎症とNStDs、最近の話題ー」
三宅 謙作 先生（医療法人湘山会眼科三宅病院理事長）

(9)下野眼科診療セミナー

- 第７回 H26. 9. 5(金) 於：宇都宮グランドホテル

「眼内レンズ度数計算のコツ」	
須藤 史子 先生（東京女子医大・埼玉県済生会栗橋病院眼科）	
「斜視の診断治療と小児の眼屈折」	
八子 恵子 先生（北福島医療センター眼科）	

４．医療安全対策及び福祉関係

(1)眼科コメディカル講習会

講習会は関東各県共同主催（於：帝京大）

(2)栃眼医親睦ゴルフコンペ

第80回 H26. 4. 20(日) 宮の森カントリー倶楽部 10名参加

優勝：木村 雅彦 準優勝：石崎 道治

第81回 H26. 10. 26(日) 宇都宮カンツリークラブ 13名参加

優勝：関本慎一郎 準優勝：柏瀬 宗弘

(3)栃眼医忘年会開催

H26. 12. 5(金) 於：ホテルニューイタヤ 18名参加

(4)平成24年度日眼医眼科医事紛争事例調査実施

栃木県内該当 0 例

５．保険関係

(1)中央及び関ブロの会議

H26. 5. 25(日) 日眼医全国審査委員連絡協議会 （東京） 木村 出席

H26. 6. 16(土) 関ブロ健康保険委員会 （千葉市） 千葉 出席

H26. 10. 26(日) 都道府県眼科医会健保担当理事連絡会 （東京） 井岡 出席

H27. 2. 15(日) 平成26年度都道府県眼科医会介護・在宅医療担当理事連絡会（東京） 吉澤（徹）出席

(2)健保研究会

H26. 5. 11(日) 栃眼医総会と同時開催（自治医大）

H26. 11. 21(金) 集談会後開催（宇都宮市医師会館）

(3)栃木県社保国保審査委員（眼科）連絡会

H26. 7. 2(木) 宇都宮市医師会館 千葉、木村、宮澤、鈴木、吉澤（徹）、城山、井岡出席

H26. 11. 11(火) 宇都宮市医師会館 千葉、木村、宮澤、鈴木、吉澤（徹）、城山、井岡出席

６．広報関係

(1)栃木県眼科医会報（第47号）発行（平成26年6月）

(2)理事会だより（6回）発行

(3)関ブロ会報編集委員会 H27. 2. 1(日) （横浜市） 大野出席

(4)関ブロ会報に「会長挨拶」「各県だより」「随筆」投稿

(5)ホームページ

７．学校保健関係

(1)中央の会議に出席

日眼医全国眼科学校医連絡協議会 H26. 9. 28(日)（東京） 苗加出席

(2)栃医学校保健部会理事会

（第1回）H26. 9. 12(日) とちぎ健康の森 苗加出席

（第2回）H27. 2. 26(木) 護国会館 苗加出席

８．公衆衛生関係

(1)栃木県眼科一次救急診療当番表を会員に送付

(2)「目の愛護デー記念行事」準備委員会
（7月31日(木) 宇都宮市健康センター（ララスクエアビル9階）） 堤出席

(3)「目の愛護デー記念行事」（宇都宮市健康センター（ララスクエアビル9階））
H26. 10. 5(日)

14：00～15：00 目の健康講座：

「加齢に伴う目の病気 ～白内障の予防と治療～」

獨協医科大学眼科学教室 後藤 憲仁 先生

15：00～15：30 眼科無料相談会・無料眼圧測定

相談員：高橋康子先生、森谷 充雄先生、他栃眼医担当理事

※広報活動

・ポスター、ちらし配布

・下野新聞に寄稿 10月3日(金) 早津（宏）理事

・新聞意見広告下野、読売各紙

・栃木放送、広報

(4)日本網膜色素変性症協会JRPS栃木支部医学講話

H26. 9. 28(日) 講師：加藤 健 先生

(5)献眼募金箱（栃木県アイバンク）を各眼科受付に設置し募金運動に協力

９．医療対策関係

(1)平成26年度栃木県高度管理医療機器販売管理者継続研修会（H26. 12. 7(日) とちぎ健康の森）
95名出席

講演1 「医薬品医療機器等法に基づく医療機器販売業等の管理」

浦島 昌久 先生（栃木県保健福祉部 薬務課薬事審査担当）

講演2 「コンタクトレンズアップデート2014」

小玉 裕司 先生（日本コンタクトレンズ学会理事）

10. 勤務医関係

(1)関ブロおよび中央の会議に出席

H26. 6. 14(土) 関ブロ勤務医委員会（千葉市） 上田出席

H26. 11. 3(月) 第15回全国勤務医連絡協議会（東京） 上田出席

(2)栃木県眼科手術談話会

第19回 H26. 5. 23(金) 於：宇都宮市医師会館 52名出席

一般演題：3題

特別講演：「白内障ＩＯＬ手術：囊死再生医療とＩＯＬ縫着」

徳田 芳浩 先生（井上眼科病院副院長）

11. 日本眼科医連盟関係

(1)日眼医連盟協議委員会

H26. 10. 18(土) （東京） 原（裕）出席

(2)本年度連盟会費納入者（当県分） 64名

平成26年度 栃木県眼科医会一般会計決算報告

自平成26年4月1日～至平成27年3月31日

費 目		平成26年度 予 算	平成26年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	関プロ分担金	407,000	418,000	11,000	－	A×61 B×82 C×10
2	眼 科 医 会 費	4,188,000	4,268,000	80,000	－	A×62 B×82 C×10
3	入 会 金	150,000	0	－	150,000	
4	補 助 金	200,000	511,000	311,000	－	日本眼科医連盟 日本眼科医会、県医師会
5	そ の 他	1,000	172,510	171,510	－	利息 栃木医療センター預り金
6	繰 越 金	5,729,910	5,729,910	0	－	
合 計		10,675,910	11,099,420	573,510	150,000	

費 目		平成26年度 予 算	平成26年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	関プロ分担金	407,000	418,000	11,000	－	
2	事 務 通 信 費	950,000	638,714	－	311,286	
3	総会学会補助	1,800,000	1,751,746	－	48,254	
4	出 張 費	400,000	445,000	45,000	－	
5	会 議 費	600,000	606,434	6,434	－	
6	慶 弔 費	100,000	156,204	56,204	－	
7	人 件 費	1,500,000	1,427,625	－	72,375	
8	そ の 他	500,000	348,712	－	151,288	
合 計		6,257,000	5,792,435	118,638	583,203	

11,099,420円－5,792,435円＝5,306,985円（平成27年度へ繰り越し）

上記会計報告を監査し適正な事を認証する。

平成27年 4 月 8 日 栃木県眼科医会監事 鈴 木 隆二郎 ㊞
宮 下 浩 ㊞

平成26年度 医事対策費及び日本眼科医連盟会費収支決算報告

自平成26年4月1日～至平成27年3月31日

費 目		平成26年度 予 算	平成26年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	対 策 費	1,635,000	1,630,000	－	5,000	A×62 B×82
2	助 成 金	200,000	0	－	200,000	
3	そ の 他	10,000	11,265	1,265	－	アイバンク祝い金 利息
4	繰 越 金	8,130,988	8,130,988	－	－	
合 計		9,975,988	9,772,253	1,265	205,000	

費 目		平成26年度 予 算	平成26年度 決 算	比 較		備 考
				増	減	
1	事 務 通 信 費	110,000	209,766	99,766	－	ホームページ管理費 振込手数料
2	行 事 開 催 費	400,000	284,120	－	115,880	目の愛護デー
3	広 告 費	750,000	586,500	－	163,500	新聞・ラジオCM
4	そ の 他	200,000	93,760	－	106,240	障害保険 一次救急交通費差額
合 計		1,460,000	1,174,146	99,766	385,620	

9,772,253円－1,174,146円＝8,598,107円（平成27年度へ繰越し）

上記決算報告を監査し、適正な事を認証する。

平成26年 4 月 8 日 栃木県眼科医会監事 鈴 木 隆二郎 ㊞
宮 下 浩 ㊞

平成26年度 栃木県眼科医会報会計報告

収 入		
前年度よりの繰越金		1 4 9,7 5 0 円
広告料	第47号（30社）	6 2 5,0 0 0 円
利 息		2 3 円
合 計		7 7 8,8 8 7 円

支 出		
第47号 印刷代		538,380円
郵便代、配送料		48,956円
事務消耗品		3,596円
合 計		590,932円

収 入	7 7 4,7 7 3 円
支 出	5 9 0,9 3 2 円
残 高	1 8 3,8 4 1 円 (平成27年度に繰り越し)

平成27年 3 月31日

栃木県眼科医会報編集委員長

大野研一 (印)

平成27年 4 月 8 日

栃木県眼科医会監事

鈴木 隆二郎 (印)

宮下 浩 (印)

平成26年度 栃木県眼科医会事業計画

1. 総務部

- (1)定例総会開催（１回）
- (2)理事会開催（６回）
- (3)日眼医都道府県会長会議、代議員会への出席
と会議内容の会員への伝達
- (4)関ブロ眼科医会連合会の各種会議への出席と
会議内容の会員への伝達
- (5)日眼及び日眼専門医制度委員会連絡事務
- (6)男女共同参画の推進

2. 經理部

- (1)適正な会費の検討及び会費徴収法等の合理化
の検討

3. 學術部

- (1) 栃木県眼科集談会の開催（２回）
- (2) 獨協医大眼科栃眼医合同講演会の開催
- (3) 栃木県眼科医会研究会、日本医師会・その他の生涯教育活動（講演会、症例検討会等）の企画、開催、後援
- (4) 各種学会その他の学術行事に関する会員への案内

4. 医療安全対策及び福祉部

- (1)眼科コメディカル講習会の開催
- (2)眼科コメディカル講習会スライド複製の貸出
- (3)諸種会員親睦行事の企画、実施
ゴルフ（2回）、その他の趣味の会の開催、
懇親会、忘年会等の企画
- (4)医療事故防止対策

5. 保險部

- (1)全国審査委員連絡協議会出席と会議内容の会員への伝達
- (2)各都道府県健保担当理事連絡会出席と会議内容の会員への伝達
- (3)審査委員との連絡強化と適正な保険医療の検討
- (4)健保研究会、及び勤務医会員、新規開業会員対象の保険診療講習会の開催
- (5)点数改正説明会の開催
- (6)社保国保審査委員連絡会開催

6. 広報部

- (1) 会報発行（年 1 回）
- (2) 理事会だより発行（年 6 回）
- (3) 関ブロ会報編集会議への出席
- (4) 一般対外啓蒙活動の推進（検眼、C L 取り扱いに関する正しい知識、視力回復センター等に関する啓蒙活動等）
- (5) 対内、対外広報 I T 化推進（ホームページ管理）

7. 学校保健部

- (1)全国眼科学校医連絡協議会出席と会議内容の
会員への伝達
- (2)健康相談としての色覚検査の実施
- (3)学校保健委員会の活用と養護教諭への啓蒙活
動の推進
- (4)学校保健活動のための教材、啓発資料の整備、
貸し出し

8. 公眾衛生部

- (1) 栃木県眼科一次救急診療
- (2) 目の愛護デー記念行事
- (3) アイバンク事業への協力
- (4) 県感染症サーベイランス事業への協力
- (5) 糖尿病に関する病診連携の推進

9. 医療対策部

- (1)非医師の医業類似行為問題、特にコンタクトレンズ違法処方事例への対応
- (2)栃木県高度管理医療機器販売管理者継続研修会開催

10. 勤務医部

- (1)勤務医会員の抱える諸問題の検討
- (2)栃木県眼科手術談話会の開催
- (3)関ブロ勤務医委員会および全国勤務医連絡協議会出席と会議内容の会員への伝達

平成27年度 栃木県眼科医会一般会計予算

収入の部

費 目		平成26年度 予 算	平成27年度 予 算	比 較		備 考
				増	減	
1	関プロ分担金	407,000	418,000	11,000	－	A × 61 B × 82 C × 10
2	栃 眼 医 会 費	4,188,000	4,268,000	80,000	－	A × 61 B × 82 C × 10
3	入 会 金	150,000	150,000	－	－	
4	補 助 金	200,000	200,000	－	－	
5	そ の 他	1,000	1,000	－	－	
6	繰 越 金	5,729,910	5,306,985	－	422,925	
合 計		10,675,910	10,343,985	91,000	422,925	

支出の部

費 目		平成26年度 予 算	平成27年度 予 算	比 較		備 考
				増	減	
1	関プロ分担金	407,000	418,000	11,000	－	
2	事 務 通 信 費	950,000	950,000	－	－	
3	総会学会補助	1,800,000	800,000	－	1,000,000	
4	出 張 費	400,000	450,000	50,000	－	
5	会 議 費	600,000	700,000	100,000	－	理事会等
6	慶 弔 費	100,000	100,000	－	－	
7	人 件 費	1,500,000	1,500,000	－	－	
8	そ の 他	500,000	500,000	－	－	
合 計		6,257,000	5,418,000	161,000	1,000,000	

平成27年度 栃木県眼科医会医事対策費予算

収入の部

費 目		平成26年度 予 算	平成27年度 予 算	比 較		備 考
				増	減	
1	対 策 費	1,635,000	1,630,000	－	5,000	
2	助 成 金	200,000	200,000	－	－	
3	そ の 他	10,000	10,000	－	－	
4	繰 越 金	8,130,988	8,598,107	467,119	－	
合 計		9,975,988	10,438,107	467,119	5,000	

支出の部

費 目		平成26年度 予 算	平成27年度 予 算	比 較		備 考
				増	減	
1	事 務 通 信 費	110,000	1,410,000	1,300,000	－	ホームページ作成
2	行 事 開 催 費	400,000	300,000	－	100,000	目の愛護デー
3	広 告 費	750,000	600,000	－	150,000	新聞、ラジオCM
4	そ の 他	200,000	200,000	－	－	障害保険
合 計		1,460,000	2,510,000	1,300,000	250,000	

平成27年度 栃木県眼科医会年会費

内 訳	A 会 員	B 会 員	C 会 員	準 会 員
関 プ ロ 会 費	4,000	2,000	1,000	0
栃 眼 医 会 費	52,000	13,000	3,000	52,000
医 事 対 策 費	20,000	5,000	0	20,000
合 計	76,000	20,000	4,000	72,000

平成27年度栃木県眼科医会会費納入のお願いが届き次第、お振込願います。

※ 自動振込機（ATM）からのお振込も可能ですのでご利用ください。

〔足利銀行 江曾島支店 店番号109 口座番号3799666 普通預金〕
〔栃木県眼科医会 会計 城山 力一〕

※ 尚、お振込の際、振込者氏名欄は所属病院名ではなく、個人名（フルネーム）にてお願い致します。

栃木県眼科医会役員
 平成27年度

	顧問	会長	副会長	理事	監事
那 須	斎藤 武久	原 裕			
塩 谷				高橋 雄二	
上 都 賀			吉澤 徹	堤 雅弘、細川美奈子	鈴木隆次郎
宇 都 宮	早津 尚夫		旭 英幸	大久保 彰、苗加 謙応 福島 一哉、早津 宏夫	宮下 浩
下 都 賀				城山 力一、斉藤 哲也 石崎 道治	
小 山				蘇 沽訓、大柳 静香	
佐 野				大野 研一	
足 利	柏瀬 宗弘			井岡 大治	
芳 賀					
自 治	川島 秀俊			小幡 博人、牧野 伸二	
獨 協	妹尾 正			後藤 憲仁、永田万由美	
公的病院				上田 昌弘	

栃木県眼科医会理事職務分担表
 平成27年度

	担当副会長	担当理事（正）	担当理事（副）
総 務	吉澤（徹）	福島	井岡、早津（宏）
経 理	吉澤（徹）	城山	蘇
学 術	旭	大久保（彰）	早津（宏）、小幡、牧野、後藤、永田（万）
医 療 安 全 対 策 及 び 福 祉	旭	斉藤（哲）	石崎、井岡、堤（雅）
保 険	吉澤（徹）	井岡	城山、蘇
広 報	旭	大柳	大野、早津（宏）、小幡、後藤
学 校 保 健	旭	苗加	斉藤（哲）
公 衆 衛 生	吉澤（徹）	堤（雅）	福島、高橋（雄）
医 療 対 策	旭	高橋（雄）	斉藤（哲）、堤（雅）
男 女 共 同 参 画	吉澤（徹）	細川	高橋（雄）、大柳、永田（万）
勤 務 医	吉澤（徹）	上田	牧野、小幡、後藤、永田（万）



平成26年度栃木県眼科医会忘年会開催報告

医療安全対策及び福祉担当理事
 斉 藤 哲 也（栃木市）

平成26年度、栃眼忘年会は、平成26年12月 5 日(金)に、宇都宮ホテルニューイタヤにて行なわれました。20名の会員の先生方の出席がありました。
 高野マリ氏のピアノ演奏もあり、いつもながら楽しい忘年会となりました。

ホテルニューイタヤ（敬称略）

城 山 力 一	しろやま眼科	原 裕	原眼科医院
大 野 研 一	大野眼科クリニック	福 島 一 哉	福島眼科医院
旭 英 幸	旭眼科内科クリニック	稲 葉 全 郎	稲葉眼科
斉 藤 哲 也	さいとう眼科医院	吉 澤 徹	吉沢眼科医院
石 崎 道 治	石崎眼科	宮 下 浩	宮下眼科医院
高 橋 雄 二	たかはし眼科	原 岳	原眼科病院
富 永 聡 子	自治医科大学	伊野田 悟	自治医科大学
妹 尾 正	獨協医科大学	松 島 博 之	獨協医科大学
永 田 万由美	獨協医科大学	古 藪 幸貴子	獨協医科大学
西 田 奈 央	獨協医科大学	宮 島 大 河	獨協医科大学
宮 下 博 行	獨協医科大学		





平成26年度関ブロ会報編集委員会報告

広報担当理事 大野 研 一（佐野市）

●日 時：平成27年2月1日(日) 12時～14時

●場 所：新横浜プリンスホテル

●出席者：

神奈川県 種田 芳郎（関ブロ世話人・支部長）
小口 和久（関ブロ運営部担当副会長）
奥 脇 賢一（関ブロ運営部担当理事）
秋 山 修一（関ブロ会計担当理事）
津 田 玄一郎（関ブロ会報担当理事）
山 田 荒太（関ブロ会報担当理事）
茨城県 中村 悦子（編集委員）
栃木県 大野 研一（編集委員）
群馬県 馬場 敏生（編集委員）
千葉県 田村 雅弘（編集委員）
埼玉県 石川 隆（編集委員）
山梨県 保坂 理（編集委員）
長野県 畠山 晃（編集委員）
新潟県 中山 徹（編集委員）

議題：関ブロ会報44号の編集について

発行予定日 平成26年4月30日

原稿締切日 平成26年3月31日

第51回関東甲信越眼科学会が平成27年6月13日、6月14日に茨城県で開催される。担当県である茨城県が、表紙、巻頭挨拶および関東甲信越眼科学会の講演抄録を担当する。

第50回関東甲信越眼科学会の印象記、各委員会報告は千葉県が担当する。

日眼医報告を小沢 忠彦先生（茨城県）、目の健康講座を埼玉県が担当する。

会長のことば、各県だより及び随筆は各県とも提出する。

栃木県からは、会長のことば：原裕会長、各県だより：原裕先生、随筆、エッセイ：斎藤哲也先生の「桶狭間古戦場巡り」、編集子囁言：大野研一を提出した。



平成26年度「目の愛護デー」記念行事報告

公衆衛生担当理事 堤 雅 弘（宇都宮市）

本年度も、平成26年10月5日(日)宇都宮市保健センターにおきまして、「目の愛護デー」記念行事を開催いたしました。例年どおり午後2時より「目の健康講座」を開催しました。本年は獨協大学眼科学教室教授 後藤憲仁先生をお招きし「加齢に伴う目の病気～白内障の予防と治療～」と題しまして、御講演いただきました。参加者は88名と多くの方にご来場いただき、講演後の質疑応答も多く、皆さん積極的に参加されておりました。講演会に引き続き、午後3時から午後4時まで「目の健康相談」を開催しました。相談員は森谷充雄先生、高橋康子先生、及び栃木県眼科医会理事数名で行いました。相談者数は28名の方にご参加いただき、皆さん熱心にご相談されておりました。ま

た開催時間中、眼科関連メーカーの皆様の協力にて、「眼圧無料測定」を行いました。こちらも盛況で参加者は45名でした。

本年度も県の実施する、地域医療に係わる県民協働事業に認定され、県からの助成もいただいております。今後も栃木県、宇都宮市、また地域住民とより良い連携を取りつつ盛大に開催できればと期待しております。

最後になりましたが、休日にもかかわらずご参加ご協力頂きました皆様には厚く御礼申し上げます。そして来年度以降も盛況なものにしていきたいと存じますので、会員の皆様におかれましては、これからもご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



第81回栃木県眼科医会親睦ゴルフコンペ 一言コメント

関本 慎一郎	はじめて参加させて頂きましたが、天気も良く楽しくプレー出来ました。ありがとうございました。
柏瀬 宗弘	猛打賞の方と一緒にラウンドだったので、楽しかったです。
木村 政彦	天気も良く楽しくプレーすることができました。ありがとうございました。
稲葉 全郎	スコアはデコボコの少ない42.44でしたが、バーディーもあり、自分としてはまああのスコアでした。母の介護の合間のゴルフは気分転換できて有難かったです。
石崎 道治	本日は新しい仲間4人が加わってくれました。ますます発展することを望んでいます。
苗加 謙応	前半天国、後半メタメタでした。
茨木 信博	たたきました。でもバーディーとれてハッピー。
坂東 誠	今日は天気も良く気持ち良かったです。UpDownが激しくて疲れました。
大塚 信行	天気も良く、楽しめました。
加藤 健	一番楽しい時期です。伝統ある会に参加させて頂きありがとうございました。もう少し上手くなって、また参加させて頂きたいです。
中村 恭子	ゴルフ日和でした。体力を使うコースでした。グリーンも難しかったです。まだまだ練習が足りません。
高橋 佳二	青森県眼科医会に転入し、先日、青森の眼科医会コンペに出席しましたが、結果は今日と同じ。練習もしないし、上達の兆しなしです。
阪下 直樹	UpDownが激しく難しいコースでした。また練習してチャレンジさせて頂きます。
竹内 あや香	稲垣から引き継ぎ、初参加させて頂きました。天気も良く楽しくプレーさせて頂きありがとうございました。



ゴルフコンペ成績表

平成26年10月26日
宇都宮カンツリークラブ

	NAME	IN	OUT	グロス	HDCP	NET		NAME	IN	OUT	グロス	HDCP	NET
1	関本慎一郎	45	42	87	12	75	8	坂東 誠	51	52	103	24	79
2	柏瀬 宗弘	51	48	99	24	75	9	大塚 信行	50	50	100	19.2	80.8
3	木村 政彦	53	42	95	19.2	75.8	10	加藤 健	52	53	105	24	81
4	稲葉 全郎	42	44	86	9.6	76.4	11	中村 恭子	62	50	112	27.6	84.4
5	石崎 道治	47	48	95	18	77	12	高橋 佳二	51	49	100	14.4	85.6
6	苗加 謙応	44	56	100	22.8	77.2	13	阪下 直樹	61	61	122	32.4	89.6
7	茨木 信博	51	47	98	19.2	78.8	14	竹内あや香	80	64	144	36	108

第82回栃木県眼科医会親睦ゴルフコンペ 一言コメント

関本 慎一郎	パットが入らないのは道具のせいだと思います。
大久保 彰	もっと練習します。
石崎 道治	本日はベストグロス。3位と商品多数頂きました。
苗加 謙応	もっとうまくなりたいです。
茨木 信博	うまくならんですネ。楽しくまわりました。
坂東 誠	暑かったけど楽しかったです！！晴れて良かった～！！
大塚 信行	雨の予報でしたが天気も良く楽しめました。
加藤 健	もっと上手くなって戻ってきます。
中村 恭子	グリーンまわりはダメでしたがウッドがよくあたったので気持ちよくプレーできました。
高橋 佳二	先週は青森県眼科医会で準優勝、今週は4位でした。真夏の暑さで大変でした。
木村 政彦	雨の予報のはずがとても良い天気で楽しくラウンドする事ができました。ありがとうございました。
阪下 直樹	目標は100切りでしたが119でした。また練習して次回こそは100を切りたいと思います。
竹内 あや香	全てのコースでバンカーにはいつてしまいました。次回は1つでもバンカーに入らないプレーを心掛けたいと思います。一緒にラウンドして下さった中村先生、坂東先生、木村さん、ありがとうございました。
笠嶋 洋一	栃木県に着任してから丸3年になりますが、ゴルフが安く、良いコースが多いので幸せです。



ゴルフコンペ成績表

平成27年5月31日
宮の森カンツリー倶楽部

	NAME	IN	OUT	グロス	HDCP	NET		NAME	IN	OUT	グロス	HDCP	NET
1	加藤 健	54	51	105	34.8	70.2	8	坂東 誠	48	48	96	21.6	74.4
2	木村 政彦	47	44	91	19.2	71.8	9	笠嶋 洋一	52	52	104	27.6	76.4
3	石崎 道治	44	40	84	12	72	10	関本慎一郎	44	47	91	14.4	76.6
4	高橋 佳二	43	49	92	19.2	72.8	11	阪下 直樹	68	51	119	40.8	78.2
5	茨木 信博	51	45	96	22.8	73.2	12	大塚 信行	51	49	100	18	82
6	中村 恭子	50	54	104	30	74	13	大久保 彰	53	41	94	12	82
7	苗加 謙応	48	42	90	15.6	74.4	14	竹内あや香	78	69	147	58.8	88.2

故 久保田 芳 雄 先生追悼



御 略 歴

氏 名：久保田 芳 雄

生年月日：昭和3年5月20日

茨城県豊里町上郷（現つくば市）にて出生

学 歴：

昭和20年3月 水海道中学校卒業

昭和20年4月 慶應義塾大学医学専門部3回生入学

昭和25年3月 慶應義塾大学医学専門部卒業
医師免許取得

昭和25年 慶應義塾大学眼科学教室に入局

昭和31年 大田原日赤病院眼科

昭和34年 宇都宮社会保険病院眼科

昭和44年12月 久保田眼科医院開業

平成24年12月 久保田眼科医院閉院

平成26年11月25日 没（享年86歳）



故 久保田芳雄先生を悼む

栃木県眼科医会監事 宮 下 浩（宇都宮市）

元理事、監事の久保田芳雄先生が平成26年11月25日にご逝去されました。御家族や御親戚に惜しまれながら86歳の生涯を閉じられました。

先生は人に対して思いやりのある大変優しいお心持ちのお人柄でございました。宇都宮市医師会では、学校保健関係を担当なさっていらっしゃいました。遠方の学校や新設校の学校医を会員に依頼する際には、十分に話し合いやご相談の時間を持たれて納得された上で担当学校医を決定なさったとも聞いております。栃木県眼科医会におかれましても理事として学校保健

を担当されていました。

先生は医師として最も基本である「相手を思いやる優しい心」の持ち主でした。入院中も常に御家族お一人お一人に、お心配りなされていたと伺っております。今でも時折穏やかで優しい笑顔の先生が思い出されます。

後に残されたご子息様も立派にご活躍されています。これまで先生にはいろいろとご指導いただきまして有り難うございました。

先生のご冥福を心からお祈りいたします。



久保田芳雄先生の思い出

早 津 尚 夫（宇都宮市）

久保田先生に初めてお会いしたのは、先生が済生会宇都宮病院に勤務されていた昭和42,3年頃でした。当時の眼科医長は室本亀吉先生（慶応で桑原安治教授と同期。雅夫先生のお父上）でした。

先生は茨城県水海道のご出身で、慶大医学専門部を昭和25年に卒業されました。同級生に、長く医師会役員として活躍された整形外科の高瀬佳久先生や、眼科では妹尾謙三先生（妹尾正獨協医大教授のお父上）がおられました。

室本先生が大寛町でご開業後まもなく、久保田先生も雀宮で開業されました。雀宮地区では唯一人の眼科医として多忙を極められ。雀宮は勿論、上三川町の小中学校の校医までつとめられました。担当校数はおそらく宇河地区では断トツだったと思います。

眼科医会では学校保健を担当しておられましたが、いつもにこやかで温和、控え目なお人柄でした。音楽家の奥様、お二人のお子様に囲まれた幸せなご家庭

のようでした。

ご長男の芳美先生が東邦大学医学部に合格された時の、嬉しそうなお話ぶりが記憶に残っています。

その芳美先生の、ホテルニューオータニにおける盛大な結婚披露宴に私もお招きをいただき、新郎側の主賓として祝辞を述べさせていただいたことも懐かしい思い出です。

平成17年、東邦大眼科で16年、医局長までつとめ上げられた芳美先生が漸く宇都宮に戻ってこられ、安塚街道に立派なクリニックを新築開業されました。雀宮地区は近年とみに発展著しく、御盛業中です。立派な後継者を得られて、先生もすっかり安心され、後顧の憂い全くない、幸せ一杯の悠々自適の晩年であったと思います。

長い間ありがとうございました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

故 田 口 太 郎 先生追悼



御 略 歴

氏 名：田 口 太 郎

生年月日：昭和5年3月5日

学 歴：

昭和22年 旧制栃木中学

(現 栃木県立栃木高等学校) 卒業

昭和25年 旧制東洋高等学校 卒業

昭和30年 長崎大学医学部医学科 卒業

職 歴：

昭和30年 国立栃木病院眼科 勤務

昭和41年 田口眼科医院 宇都宮市桜町にて開業

昭和46年 田口眼科医院 宇都宮市松原町にて開業

平成26年7月10日 逝去 (84才)



故 田口太郎先生を悼む

栃木県眼科医会監事 宮 下 浩 (宇都宮市)

元副会長、顧問の田口太郎先生が平成26年7月10日に84歳でご逝去されました。お亡くなりになる2週間ほど前に、某製薬会社の勉強会があり、その会に田口先生が出席なさっていらっしゃいました。訃報の連絡を受けたときは、私にとってまさに青天の霹靂でありました。

田口先生は栃木県眼科医会では10年以上に亘り会計経理を担当なさっていました。私は副会計として先生のお宅にお伺いし、その際先生の温厚で誠実なお人柄に触れる機会が多々ありました。ご自宅には趣味の一つであるジグソーパズルの大作が飾られていました。細かいピースの難しいものだったことを覚えています。又その他にも坂東三十三所巡りをなさったり、ゴルフ場のピンの蒐集もなさっていました。写真も上手で、眼科医会

会報の表紙に使わせて戴きました。

また先生は、宇都宮市医師会の理事や議長を務められ、人望を集められ医師会内でも慕われていました。医師会の役員研修旅行に私のような者もお誘い下さり楽しい旅行をご一緒させていただいたのは私の宝物のような思い出となっています。

先生は眼科医として常に研鑽を積み、眼科医会の講習会、研究会等には必ず出席なさっていらっしゃいました。宇都宮市学校保健の講習会等にも熱心に参加され、社会に貢献し、眼科医として84歳の生涯を閉じられました。ただただ頭の下がる思いであります。後に残されたご子息様も立派にご活躍されております。これまでに先生には色々のご指導いただきまして有り難うございました。先生のご冥福を心よりお祈りいたします。



田口太郎先生の思い出

早 津 尚 夫（宇都宮市）

田口先生は、インターンを含め10年近く国立栃木病院に勤務されたあと、桜十文字に開業されました。耳鼻咽喉科の玉川健二郎先生とご一緒に、ビル開業のはしりでした。お二人とも当初から御繁昌で、手狭となり、数年後近隣地に新築移転されました。

私が国立栃木病院に来たのは、先生ご開業の一年後位だったかも知れません。栃木県が初めてで、右も左もわからなかった私に先生は、病院のこと宇都宮のことなど、いろいろ懇切丁寧にオリエンテーションして下さいました。初めて車を買ったときもお世話になりました。

私が開業した際は、ほぼ同時期に開業された久保田芳雄先生と共に、市医師会の保険部員をやっておられた田口先生に、当時は旭町にあった市医師会館にカルテを持参して、新規開業向けの保険請求の自主指導をしていただきました。

先生は大変温厚、協調的で、周りに気配りをされるご性格で、誰からも好意を持たれ、敬愛されました。市医師会の議長までやられたのも、会員から寄せられる絶大な信望の証しであったと思います。

県眼科医会では、長く経理を担当され、平成元年に私が会長に推された時には、柏瀬宗弘先生と共に副会長をやっていただきました。

先生は愛煙家でしたが、お酒の方は全くやられず、飲み会の帰りには専らアッシー君を引き受け

て下さいました。私も数え切れぬほどお世話になりました。

先生は何でも器用にこなされました。野球、ゴルフ、ボウリング、何をやってもお上手でした。麻雀も減法お強く、小林千里先生や湯本誠先生ら、国立栃木眼科OBの先生方と年1、2回卓を囲むことが十年以上続きましたが、いつも田口先生にやられっぱなしでした。

ご長男の朗先生は、私の長男宏夫と宇大付属中、宇都宮高校とも同級生で、親しくさせていただきました。宇高の大先輩である本田孔士教授の京大眼科に入局され、現在も同名誉教授が院長をされている大阪日赤でご活躍中です。先年、原孜先生のお世話で、東京の優秀な内科の女医さんと結婚され、披露パーティに原、柏瀬両先生と共に招きいただきました。

先生は今まで病気をされたとお聞きしたことが全くなく、頑健そのもののように見受けられました。数ヶ月先のゴルフの予定まで入っていたと聞きます。惜しみて余りあるご急逝でした。入退院を繰り返している私より先に逝かれるとは思っていませんでした。

しかしながら、顧みますと先生の人生は茶道家の奥様と睦まじく歩まれた、大変幸せな、充実したご生涯であったと拝察いたします。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

故 石 井 章 次 先生追悼

御 略 歴

氏 名：石 井 章 次

生年月日：大正4年6月16日

栃木県安蘇郡田沼町生まれ（現佐野市）

学 歴：

昭和10年3月 旧制松本高等学校卒

昭和14年3月 京都帝国大学医学部卒
京都大学眼科医局入局
軍医として中国に応召

昭和21年 眼科医局復帰
京都大学医学部附属病院

昭和23年 前橋日赤病院眼科医長

昭和27年 佐野市にて石井眼科開業

平成26年10月31日 逝去



石井章次先生を偲んで

松島眼科医院 松 島 雄 二

石井章次先生の御実家は佐野市（旧阿蘇郡田沼氏）戸奈良にあり、当時有名な眼科だったそうです。軍医として戦地に行き、昭和20年に引き上げてこられ、昭和27年に佐野駅付近の高砂町に開業されました。昭和33年から40年までは佐野医師会理事、昭和43年から48年まで佐野医師会監事、昭和49年から60年まで佐野医師会議長と副議長として活躍されました。また、昭和47年から56年まで

は佐野医師会病院運営正・副委員長としても活躍されました。

石井先生は大変温厚なお人柄で、多くの患者さんそして先生から慕われておりましたが、99歳という男性としては長寿でご逝去されました。

謹んで石井章次先生のご冥福をお祈りいたします。



栃眼医理事の退任にあたり

獨協医大 松 島 博 之

平成18年より8年間栃眼医会理事を担当させていただきました。もともとは獨協医大眼科医局長を任された時より、栃木県眼科医会と医局の連携をしっかりとるようにと任命されたように思います。理事会で議論に上がる問題は様々で、担当理事の方々と何時間も話し合い栃木県眼科医会を運営することはとても大変でしたが、色々なことを学ぶことが出来ました。長年勤めて、栃木県は大学と開業医の先生方の連携が上手くいっており、お互いが持ちつ持たれつ、良い関係を築いていると思いました。特に開業医の先生方に交代で行っ

ていただいている休日当番医のお蔭で、獨協医大の当直医は大変助かっており、感謝しています。

さて、年が経つのは早いもので、自分が医局長を外れてから、後藤憲仁が、そして永田万由美が医局をまとめてくれています。これからはこの2名に栃木県眼科医会理事として頑張っていたいただき、更に大学と医会の関係を円滑にし、かつ理事として良い経験を積んでもらえばと考えています。今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。



栃眼医理事に就任して

獨協医科大学 永 田 万由美

獨協医科大学の永田万由美と申します。本年度より、栃眼医理事に就任させていただきました。

気づけば獨協医科大学眼科学病室に入局後、早や16年が過ぎてしまいました。精神年齢的には医局の若い先生と大して変わりはない(むしろ下?)と思っているのですが、手術中の調節力と呑みすぎた翌日の回復力の低下に少々ぞっとしております。

医局に後輩が増えたこともあり、診療業務や教育業務に追われておりますが、後輩を指導するこ

とで自分も成長させてもらっているように感じ、大変有意義な毎日を送らせていただいております。ついつい自分の眼科医としての勉強もおろそかになりがちですが、後輩のするどい質問にいつでも立ち向かえるよう、頑張りたいと思います。

もとより浅学菲才ではありますが、栃木県眼科医会の発展に少しでも貢献できるよう精いっぱい尽力する所存です。これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

会員のつづき

大野 研一（大野眼科クリニック）

北陸新幹線を利用して能登半島に行ってきた。美しい里山里海の風景が残されており、世界農業遺産に登録されている事を今回初めて知りました。

斉藤 哲也（さいとう眼科医院）

5月の連休に飛鳥奈良に行ってきました。レンタサイクルで石舞台古墳や大化会心の地といわれる板蓋宮跡などを見てきました。

上田 昌弘（国際医療福祉大学塩谷病院）

4月から院長が変わり、「眼科も電子カルテを」との意向。部門システムは高価だ

し、やっぱり全部スキャナーで取り込むしかないのか。

久保田芳美（くぼた眼科）

卓球を再開して1年。いつまで中学生の息子のライバルでいられるかな？汗をかくのは気持ちよいが、小学生に負けるとちょっと悔しい…。

吉澤 徹（吉沢眼科医院）

最近歩き始めた初孫がかわいくてしょうがない状態です。爺々と呼ばれて本望な毎日です。

会員のつづき

石崎 道治（石崎眼科）

最近ビーシュリンプというなかには1匹5千円以上もする高級鑑賞淡水エビを飼いだした。順調に増えている。冬にはペンツが買えるかもしれません。

宮下 博行（獨協医大眼科）

ガソリン税には消費税をかけないでほしいですね（二重課税！）

宮島 大河（獨協医大）

今年度も精一杯頑張ります！

高橋 秀徳（自治医科大学）

P C Vの治験に御紹介有難うございます。

柏瀬 光寿（柏瀬眼科）

いまとっても意識して取り組んでいること。それは、問題対処ではなく問題解決をすること。そして満足でなく幸福になることを目指すこと。

鈴木 重成（獨協医大）

念願のI B S A ・ I P C公認クラシフィアの資格を取ることが出来ました。視覚障がい者スポーツに尽力しようと思っています。



国保審査員退任挨拶

鈴木 隆次郎

国保審査委員の任期が無事終了し一息ついていきます。毎月半月ばの数日間は時間に追われ辛い数年でした。審査では黒白判断が難しい灰色の部分の判定に苦慮しました。あまりに偏らず、平等に

なるように心がけました。不満、不平多々あったと思いますが御寛容ください。担当理事の井岡先生をはじめ関係者諸兄のご協力に感謝します。



社保審査委員退任にあたって

前社保審査委員 宮澤 敦子

4年前、社保の審査委員の依頼をいただいた時、やれるかどうか不安でした。また4年前の3月11日の地震ではクリニックに壊滅的な被害があり、診療の存続も危ぶまれておりましたので、正直お断りしようとしたくらいでした。でも、診療もどうにかつづけられ、いままで担当の先生方がきちんと任務を全うされてきたのですからここで断つてはいけなと、依頼を引き受けました。

実際に審査するにあたっては多くの先生方のお世話になりました。前任の城山先生から参考資料をいただきました。千葉先生、旭先生からわからないことを丁寧に教えていただきました。木村先生とは大変スムーズに仕事をさせていただきました。また国保の審査委員の先生方との連絡協議会

ではいろいろな貴重なご意見をうかがうことができました。

ひと月に2日から4日、宇都宮に出向かなくてはならないことは負担でありましたが、ある面楽しみでもありました。審査会では知り合いの他科の先生におめにかかり懐かしい話に時を忘れたり、眼科ばかりでなく他科の審査の大変さも実感したりしました。また、早く審査が終わった日には宇都宮美術館に出向き、なにかほっとするようなひと時を味わったりもしました。

この4年の間に紙レセプトの一次審査はほとんどなくなり、縦覧、突合などの新たな審査が加わりました。今、そのような流れを意識せざるをえない時かもしれません。

会員のつづき

柏瀬 宗弘（柏瀬眼科）

ジェネリックが登場してから薬品名が長く、時々診療するのに困ってます。時々海外旅行に行くのが楽しみです。

稲葉 全郎（稲葉眼科）

宇都宮市医師会ゴルフ部 コール・ドクターズ歌医師会会報編集委員 写真 医師会理事 趣味を仕事に 仕事を趣味に 欲しい片腕 つぶやく ありがとう。

城山 カー（しろやま眼科）

「運を支配する」桜井章一著を読み実践しています。それから運気が上昇した気がします。

とは言っても、麻雀ゲームが強くなっただけです。

宮澤 敦子（宮澤眼科クリニック）

5月6日に、NHKFMで「思い出の映画音楽特集」がありました。大阪放送局からの10時間連続の生放送です。超楽しい、幸せな10時間でした。

ロート製薬から次世代素材*「シリコーンハイドロゲル」レンズ。
やさしさ伝えたい。*弊社従来品比較

●コンタクトレンズは高度管理医療機器です。必ず眼科医の検査・処方を受けてお求めください。

装着時間を正しく守ること・使用期間を正しく守ること・取扱方法を守り正しく使用すること・定期検査を受けること
少しでも異常を感じたら直ちに眼科医の検査を受けること・破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと

近視・遠視用／乱視用 2週間交換ソフトコンタクトレンズ 販売名:ロートモイストアイ 承認番号:22200BZX00714A02



ロート製薬株式会社



国保審査員就任挨拶

苗 加 謙 応

このたび国保審査員を引き受けました苗加です。よろしくお願いいたします。

いつかは来るとわかっていた審査員ですが、ついにやってきてしまいました。

実際に審査を始めるようになって感じたのは、今まで審査員をなさって下さった

先生方がいかに大変だったかということです。

幅広知識が求められ数も膨大です。

今はまだわからないことだらけなので資料を調べたり周囲の先生に御指導をいただきながら少しずつ進めています。まだまだ未熟ですが先生方のご迷惑にならない様、周囲の先生に御指導いただきながら知識を増やしていこうと思っています。これからもよろしくお願いいたします。



社保審査委員就任挨拶

社保審査委員 大 野 研 一（佐野市）

このたび社保審査員に就任することになりました。

医療機関は診療報酬を得、その収入を器械の購入、給料、土地建物代や銀行等への支払に充てながら医業経営をしてゆくわけであり、収入のもととなるレセプトはいわば医業収入の原資ともいえます。

このようなことを考えるとレセプト審査という仕事の重みと責任を強く感じます。仕事はまだ始まったばかりで無事やっていけるか不安もありますが、審査に関わる多くの知識を身につけ、また審査経験のある先生方から指導を仰ぎながら任務を果たして行きたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

☆O☆コンタクトレンズケアに新システム！
これまでにない **除菌力！**

雑菌や汚れから徹底ガードする「ポビドンヨード」シリーズ

O₂・ハードレンズ用

O₂・ハードレンズ用
酵素洗浄保存剤
「ポビドンヨード」配合
O₂SEPT
オーツセプト®



※今春リニューアル予定

ソフトレンズ用

消毒・洗浄+タンパク除去+すすぎ
ソフトレンズ用
消毒・洗浄システム
FIRST CARE
ファーストケア®



販売名：ハイオクレンファーストケアb 医薬部外品

日本の瞳に、日本製のコンタクトケアを。

株式会社 オプテクス 神戸市中央区港島南町5-2-4 www.ophtecs.co.jp
オプテクスは医療関係者専用 ☎ 0120-021094 受付：月～金（祝日は除く）9:00～17:00



獨協医大の近況

獨協医大眼科 医局長 永田 万由美

栃木県眼科医会会員の皆様には、平素より大変お世話になっております。恒例ではありますが、獨協医大眼科学教室の近況を報告させていただきます。

最初に、本年1月に京都で開催させていただいた第38回日本眼科手術学会総会では、栃木県眼科医会会長である原裕先生をはじめ、会員の皆様より多大なご支援をいただき、盛会のもとに無事総会を終了することができました。このような大きな学会の準備運営は初めてであり、大変ではありましたが、妹尾教授をはじめ医局員一同無事に任務を終えて安堵しております。これも皆様のお力添えのおかげと心より感謝しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて医局の現状ですが、平成27年5月現在大学内は、20名の常勤医（レジデント6名含む）、女医支援枠2、非常勤講師5名、非常勤助教1の28名で構成されています。その他に済生会宇都宮病院2、うつのみや病院1、西大宮病院2、那須赤十字病院1、那須南病院1名、吉田眼科病院（函館）1名、小沢眼科病院（茨城）1名、計9の学外派遣医がおります。4月より外来担当医が大幅に変更となっておりますので、当科のホームページ（<http://www.dokkyomu-eye.com>）でご確認ください。昨年度の手術件数は、角膜移植67件、白内障手術1432件、網膜硝子体手術730件であり、ほぼ例年通りですが、緊急の患者様が多く、日曜、祝日も緊急手術を行うことで対応しております。ただし病棟満床のため、ご紹介当日に入院できない場合もあります。ご迷惑をおかけしますが、ご

理解の程よろしくお願いいたします。

新しいニュースとして、6月から眼科外来は、新設された教育医学棟に移転します。検査室も広くなり、診療も今までの7診体制から9診体制になる予定です。患者様に必要な検査をできるだけスムーズに受けていただき、緊急の患者様には早急に対応ができるよう、医局員、外来スタッフ一同、新たな気持ちで頑張っていこうと考えております。

また今年は、伊藤栄医師、岡安彬彦医師、2名の新しいレジデントが入局してくれました。2人とも、とてもやる気に満ち溢れていて、朝早くから夜遅くまで上級医の診療や手術に参加し、上級医を質問攻めにしています。おかげで医局員の良い刺激になっているようです。

2020年には東京オリンピックが開催されますが、鈴木重成講師がパラリンピックのInternational classifierに選出されました。先生は3年前よりこの仕事に興味を持たれ、忙しい臨床業務のなか様々な講習会や海外での試験を経て見事合格されました。グローバルな活動を通じて、医局だけでなく栃木県眼科医会に新しい風を吹かせてくれることでしょう。

最後になりましたが、今年も妹尾教授を中心に、医局員一同、栃木県の地域医療のため尽力する所存です。そして臨床業務だけでなく、先代の教授達から引き継いだ研究や実験も精力的に行い、国内・海外学会にも積極的に参加していきます。これからもご指導・鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



自治医大の近況

自治医大眼科 医局長 牧野 伸二

平素より、栃木県眼科医会の先生方にはたいへんお世話になりありがとうございます。この場を借りて感謝申し上げます。

昨年の2名に続き本年度も2名が入局し、教授以下16名となりました。

一般外来診療では、9つの診察室がいっぱいになることが多く、さらに、各専門外来の予約数も多く、連日やり繰りに奔走しております。手術件数も増加しており、入退院の繁忙さは相変わらず

の状況です。その中で、臨床研究、基礎研究の時間がとれるよう、また手術を極めたい医局員の教育を、一丸となってあたりたいと考えております。手術待ちの患者さんも多く、ご迷惑をおかけしておりますが、先生方のご要望に添えるように、また、若い力の成長も期待して、医局員一同努力したいと考えておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

「紙カルテ」の扱いやすさにこだわった カルテビューアシステム

～今の運用をそのままにカルテの電子化を実現～

■カルテをスキャンし電子保存

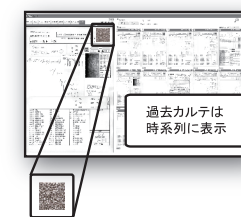
診察は今まで通り紙カルテを使い、診察終了後にまとめてスキャン、カルテは破棄します。

■医師が診察に専念できる

キーボード入力不要な超カンタン操作！
今の診療スピードを維持したまま導入可能です。

■コストの削減

カルテの保管場所と運搬・探索にかかっていた人件費を削減！導入費用も安い。



文書に対してQRコードを添付して管理します。このQRコードによって、各文書はスキャン後に自動的に仕分けされます。
「QRコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。



眼科検査用車いす



ヘススクリーン

リッツメディカルは、眼科病院・医院の開設や運営に関するご相談やご提案・最新機器の販売やメンテナンスを中心に「よりよい病院づくり」のお手伝いを行っております。



眼科医療機器専門商社
株式会社 リッツメディカル

本社営業部／愛知県豊川市伊奈町新屋279番地
TEL.0533-72-5210 FAX.0533-78-3120
URL <http://www.ritz-med.co.jp>

埼玉営業所 〒354-0014 富士見市水谷 1-1-26
TEL.049-268-3358 FAX.049-268-3287
茨城営業所 〒300-1206 牛久市ひたち野西 3-29-6
TEL.029-830-7007 FAX.029-830-7356

東京・品川・西東京・千葉・横浜・厚木・山梨・松本・長野・静岡・浜松・名古屋・名古屋西・春日井
愛媛・三重・京都・大阪北・大阪・奈良・和歌山・神戸・姫路・広島・高松・北九州・福岡・宮崎・熊本・鹿児島

新入会員自己紹介



秋 草 正 子
(石井眼科医院)

この度栃木県眼科医会に入会させていただきました。よろしくお願いします。

昭和51年東京女子医科大学を卒業後、東京大学分院眼科に入局しました。その後虎の門病院に勤務いたしました。

六十余年前に佐野に開業した父の跡を継ぎ微力ながら地域医療にお役に立ちたいと思っております。

今後とも栃木県眼科医会の先生方には御指導をよろしくお願いします。



佐々木 誠
(足利赤十字病院)

この度、栃木県眼科医会に入会させていただきました佐々木誠と申します。

2014年10月から慶應義塾大学眼科学教室からの派遣で足利赤十字病院に勤務することになりました。

宜しくお願いいたします。

出身は自治医科大学、卒業年は1999年ですが、田舎の診療所などを勤務しながらだったので、本格的に眼科研修ができたのは2005年頃からです。

昨年までは横浜市民病院にいたので白内障を見えなくなるまで放っておく患者さんはあまり見掛けなかったのですが、栃木に来てからは両眼とも0.1以下で生活している患者さんなどいて、非常にびっくりしています。

眼科医としては、見えるようになる人を放置し

ておくことほど心が痛むことはありません。

この地域で、視力で不自由する方が少しでも減るよう積極的治療に努め、そのためには多少のリスクはかぶっていく所存です。

現在、足利赤十字病院では慶応派遣の3人体制で診療を行っており、3人で週16件、白内障手術を中心に行っております。

幸いこのところ大きな合併症もなく、患者さん及び、ご紹介頂いた先生方の期待に応えられているのではないかと思います。

まだまだ未熟な我々で、この辺りで長年頑張られているご先生方の技術には到底及びませんが、胸を借りるつもりで頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



古 籾 幸貴子
(獨協医科大学眼科学)

群馬県富岡市生まれ

2003年 群馬県立高崎女子高等学校 卒業

2012年 獨協医科大学 卒業

2014年 獨協医科大学眼科学 入局

曾祖父、祖父、父が眼科医であり、とくに迷うことなく眼科に入局しました。眼科はたった2cmの小さな臓器ですが、とても多くのジャンルがあり奥深く、日々驚きと感動そして反省と、、、をもらっています。また、治療の結果が視力という患者さんの自覚として現れるため、嬉しい言葉をいただくことでモチベーションもあがり、逆になかなか喜びの言葉を聞けない患者さんに対しての意欲も上がりやすい科だと思います。

栃木県に住むみなさんの瞳を明るくすることを

目標に日々精進してまいります。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



宮 島 大 河
(獨協医科大学眼科)

この度、栃木県眼科医会に入会させていただき誠にありがとうございます。栃木県の眼科学繁栄のため、身を粉にして尽力していきたいと思っております。よろしくお願いします。

私の生まれは、かつて冬季五輪で賑わいを見せた長野県長野市でございます。長野の雄大な自然の中、林檎を片手に釣りをしたり薪を割ったりして育ちました。そんな私の両親とともに眼科医でしたので、幼少時代はよくスリットやNCTなどの眼科器具で遊んでいました。しかも実家に存在する漫画は手塚治虫の「ブラックジャック」しかなかったので、若き宮島少年にとって「医師になりたい、しかも眼科医に！」と思うことは至極当然のことであったように思います。そうこうして獨協医大に入学し、母校の眼科医局に入局できたことはとても嬉しく、この恵まれた環境を無駄にしないよう日々精進しなければと毎日身を引き締めております。

今では、外来・病棟・手術・当直など大変充実した日々を送らせていただいています。これもひとえに栃木県眼科医会の先生方のご指導があったことと思っております。これからも栃木県の眼科学繁栄の為に日々努力していく所存ですので、御指導御鞭撻のほどよろしくお願いします。



西 田 奈 央
(獨協医科大学眼科)

この度は、栃木県眼科医会に入会させていただきました。有難うございます。

埼玉県の小江戸といわれている川越で、眼科医の母から、幼少期より眼科になるよう刷り込まれて育ってまいりました。いざ研修医になりいろいろな科をローテーションし、違う科に心揺らいだこともありましたが、初志貫徹で眼科医を目指すことを決めました。

獨協医大の眼科学教室は、妹尾教授をはじめ、上級医の先生方の熱心なご指導のもと、毎日忙しくも楽しく、充実した日々を送らせていただいております。獨協医大は毎日のように緊急手術があり、上級医の先生方が夜遅くまで手術をしている姿をみて、いつしか自分も栃木の眼を守れるように毎日勉強させていただいています。

素晴らしい環境の中で毎日学べることを誇りに思いながら、日々精進していきます。

いつも栃木県眼科医会の先生方には大変お世話になっております。今後、多々ご迷惑をおかけしてしまうかと思いますが、ご指導よろしくお願い申し上げます。



伊野田 悟
(自治医科大学眼科)

この度、栃木県眼科医会に入会させていただきました伊野田悟と申します。よろしくお願い申し上げます。

栃木県で生まれ、高校まで地元栃木で育ちました。大学は隣県にある群馬大学に入学し、平成24年卒業とともに地元栃木に戻り、自治医科大学附属病院にて初期研修を修了いたしました。平成26年より自治医科大学眼科学講座に入局し、同院にて勤務させていただいております。

日々知識の刷新とともに、眼所見の診方も変わり驚きと楽しさを感じております。その一方で、当たり前ではありますが未熟さを感じ、特に職場の諸先生がたにはご迷惑をおかけしてばかりです。また幸いにも学会発表の機会なども頂き、臨床以外の面でも眼科の面白みを感じております。

まだまだ未熟で、栃木県眼科医会の先生がたに

はご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、日々診療・勉強に精進してまいりますので、今後共ご指導・御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



富 永 聡 子
(自治医科大学眼科)

この度、栃木県眼科医会に入会させていただきました富永聡子と申します。よろしくお願い申し上げます。

平成19年に日本大学医学部を卒業し、その後2年間初期臨床研修を日本大学医学部附属板橋病院で行いました。平成21年日本大学医学部視覚科学系眼科学分野に入局、平成25年に眼科専門医を取得致しました。

この度、結婚を契機に栃木県に引っ越し、平成26年7月から自治医科大学眼科学講座に入局、勤務させていただいております。

祖父が足利出身であり、小さい頃に遊びに連れてきてもらっていた栃木県に住むことになり、不思議なご縁を感じております。

栃木県眼科医会の先生方には日々大変お世話になり、感謝しております。栃木県の眼科医療のために日々自己研鑽に励んでまいりたいと思っています。

これからも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



釣 巻 穰
(伊野田眼科クリニック)

この度、栃木県眼科医会に入会させていただきました釣巻穰です。宜しくお願い申し上げます。平成7年、栃木から埼玉へ転出以来、20年ぶりの再入会になりますので、実家に戻ったような感じ

です。

平成7年までは自治医大で、清水昊幸自治医大名誉教授と澤充日大名誉教授の指導の下、フレアセルメーターの臨床応用と水晶体摘出・眼内レンズ挿入術後炎症の研究を行っておりました。埼玉では自治医大大宮医療センター（現さいたま医療センター）の眼科標榜に従事、その後、家庭の都合により福島で小さな眼科医院を十余年経営しておりました。

還暦を過ぎ、最近は個人事業主に少々疲れてきましたので、当クリニックの理事長・院長のご厚意により勤務医に戻りました。これからは皆様のご迷惑にならないよう、一般外来診療と趣味の眼瞼形成を続けていこうと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。



水 流 忠 彦
(国際医療福祉大学病院眼科)

2014年4月から栃木県眼科医会に入会させていただきました。本会への入会は今回で3回目となりますので、「新入会員」というより「出戻り会員」になります。1回目は1984年に自治医大眼科講師として、2回目は1998年に自治医大眼科教授として、今回は国際医療福祉大学病院眼科教授として赴任しました。前回までの本会所属中は、眼科医会の先生方には大変お世話様になりました。改めて御礼申し上げます。私が眼科医となって37年が過ぎましたが、自ら振り返ってみますと6～8年毎に栃木県と東京都の眼科医会を往復しており、結果的に妙に周期的な眼科医人生を送ってきたようです。この分だと、また数年後にどこかに異動することになるような気がします・・・。

現在、私自身は主に外来診療と外眼部手術・レーザー治療等を行い、内眼手術は行っていません。国福病院はベッド数が401床の中規模病院ですが、眼科は最近手術件数も大幅に増えています。また、神経眼科・小児眼科が充実しているのも特徴です。さらに本年5月からは埼玉医大眼科教授

であった森圭介先生を眼科部長に迎え、従来の白内障手術等に加え、網膜硝子体手術や網膜疾患の診療・研究の充実も図られる予定です。今後も、栃木県北部地域の眼科診療のお役に立ちたいと考えておりますので、宜しくご指導・御鞭撻の程お願い申し上げます。



齋 藤 由 香
(齋藤眼科医院)

この度、栃木県眼科医会に入会させていただくことになりました齋藤由香と申します。よろしくお願い申し上げます。

平成8年に獨協医科大学を卒業し、自治医大さいたま医療センターで2年間ローテーション研修を受けた後、眼科に入局し自治医大の本院とさいたま医療センター眼科で数年間づつ交互に勤務させていただきました。

結婚、出産を機にさいたま医療センターの非常勤医員となり、子育てをしながら少しだけ仕事をする状態でしたが、さいたま医療センターでは黄斑外来を担当し、新しい治療にも関わることができました。

去年さいたま医療センターを退職し、栃木県で主人を手伝って齋藤眼科医院で仕事をしております。

毎日時短で仕事をしておりますが、それでも日々の診療に追われてなかなか新しい事にまで手が回らない状態ですので、開業されて長い間仕事をされている栃木県眼科医会の先生方大変さを痛感しています。

また重篤な患者さんはすぐに大学の先生方をお願いするしかなく、日々大変お世話になり感謝しております。

今後は、自分にできる最善の仕事をして、地域の患者さんから信頼されお役にたてるように頑張りたいと思います。

今後ともよろしくご指導くださいます様お願い申し上げます。



台北夜市 —饒河街觀光夜市（ラオホーガイかんこうやし）—

蘇 涑 訓（小山市）

昨年12月初めごろにタレントのウエンツさんとロックシンガーのDaigoさんと船橋市の非公認ゆるキャラふなっしーとの台湾の夜市巡りを紹介するTVのバラエティ番組を見て、ちょうど年末に台湾に帰省する際、30数年ぶりに行ってみようと思って行って来た。

夜市の歴史と由来：隋や唐の時代に市場は厳格な規制を受けており、官吏の管制で開店や閉店時間が決められていた。晩唐の時代に長安の崇仁坊で夜市が始まったと言われている。その後、洛陽、開封、揚州などに発展していった。現在は主に中華圏や東南アジアを中心に存在する。昼間の高温を避けて比較的快適な夜に人々が外出するために、夕方から真夜中に屋台、露店、雑貨、売店、移動販売などの集合体である夜市が自然に発展していき、庶民の憩いの場・生活の場として愛されている。

中国語では夜市（イエーシー）、台湾語では夜市仔（ヤーチアー）、英語ではNight market等と呼ばれている。夜市には伝統的なものだけではなく、同業者間の競争が非常に激しい。若者などの支持を取り付けるために、常に新しい取り組みを行っている店は生き残る。台湾の夜市では観光夜市—観光客が多く集まる大型夜市と学生夜市—学生を対象として学校の周りに発展した夜市と屋台夜市—屋台を中心とした夜市とに分けられている。台湾では夜市が観光資源として重要な役割を果たしていて、文化的な遺産として夜市を残そうという構想があるようです。地元の人のみならず、多くの内外の観光客にも愛されている。

台北の大型観光夜市は2つあって1つは規模が一番大きく、よく知られている士林観光夜市ともう1つは饒河街観光夜市である。今回は饒河街観光夜市に行って来た。地理的に台湾鉄道の松山駅とバスの饒河街観光夜市バス停の近くにあるので

比較的に行きやすい場所で、昔ながらの夜市ということもあり、伝統的な小吃店も多く、買い物にも食べ歩きにもOKな台湾ムード満点名夜市である。饒河街夜市は直線距離約500mほどであり、一本道となつて一往復すれば、ほぼすべての店を見ることが出来る。帰りに両サイドの出口から直ぐタクシーを捕まえることが出来、大変便利です。



バス停側のゲート（Fig1）から歩いて見るとゲートのすぐ傍に、珍しく美味しそうな原住民の



イノシシの腸詰の売店（Fig2）があった。そしてゲートをくぐって先ず目に入ったのは、人がいっぱい居ても滞りなく、ゆっくり前に進んでいく。中に入ってみると英語、ハングル語、広東語、

日本語などを話している欧米や韓国や香港や中国や日本からの観光客の皆さんと地元の人が買い物を楽しんでいたようだった。



少し前に進んでいくと現壓甘蔗原汁（Fig3）（サトウキビのしぼりたてジュース）の売店があつて、早速買って飲んでみた。小さい時に飲んだ味とまったく同じく甘く、美味しくて昔の味のままで懐かしかった。

道なりに沿って真っすぐに歩いていくと大好き



な牛軋糖（ヌガー）の店（Fig4）があつた。すべて無添加で手作り、アーモンドとか、ピーナッツとか、山菜とか、ごま入りのものとかがあり、思わずに6箱を買ってしまった。さらに『百年老店』の看板を出す老舗の東発號でよく煮込んだ麺にトロトロスープ、中にモツ、カキ、香菜などが入っている台湾の昔ながらの麵線（そうめん）が食べられる（Fig5）。

もう少し前に行くと日本ではめったに見られないスマートボール（Fig6）があつた。そのあとは女性大好評の台湾式エステ挽面（ワンミエン）という糸脱毛（Fig7）の店で顔面に大量の



粉を叩き、糸を交差させ、産毛を抜き取ることで結構人気があつて、順番待ちみたい、もしここに訪ねることがあれば、チャレンジしては？奥に行くと神鳥掛という小鳥占いで、かわいい小鳥が札を選んでくれてそれを見て占い師が説明してくれる（Fig8）。ゲートの最後尾に饒河街観光夜市の名物、胡椒餅の店舗（Fig9）で黒胡椒をたっぷ

り利かせた豚肉とネギのあんを小麦粉の生地で包み、鉄の窯で焼いたやや硬いパンのようなもので、一口噛むとおいしい肉汁が口の中に広がる。ビールのおつまみとして最高だと思う。夜市全体の両側と真ん中にいろんな店がずらっと並んで客がいっぱい居て食べたり、飲んだりしてるでお祭りのように賑わっていた。30数年振りの夜市は昔とあまり変わってはいないが、ただ昔より国際的



知名度が上がって、夜市に訪れる外国人の方々が年々増えているようで特に4年前の311東日本大震災時、台湾から200億円以上の義捐金を寄付してもらってから、台湾に訪れる日本人の方々が以前より増えていることをうれしく思っている。皆様、もし台湾に訪れることがあったら、是非、一度夜市に寄ってみてはいかが？



平成26年度 栃木県アイバンク募金 協力医療機関への御礼

公衆衛生担当理事 堤 雅 弘（鹿沼市）

栃木県眼科医会会員の皆様におかれましては、平素アイバンク募金へのご協力を賜り誠にありがとうございます。

本年度も募金の回収は5月の総会時に直接アイバンクの方に直接手渡すという形になっております。各医療機関の皆様にはお手を煩わすかたちとなり誠に恐縮ですがどうぞよろしくお願い申し上げます。また、栃木県アイバンクより、回収時には施設ごとに金額の計算と袋詰めをお願いしたいとのお願いがありました。こちらも含めご協力をお願いしたいと存じ上げます。

平成26年度も19の医療機関のご協力を得て、合計217,618円の募金を頂きました。
今後とも募金活動のご協力をお願い申し上げます。

協力医療機関一覧は以下のとおりです（順不同・敬称略）

旭眼科内科クリニック・金子眼科・のうか眼科・早津眼科医院・福島眼科医院・宮下眼科医院・吉沢眼科医院・つつみ眼科クリニック・しろやま眼科・自治医大眼科学講座・高橋眼科・さいとう眼科医院・加藤眼科医院・鈴木眼科医院・原眼科医院・伊野田眼科クリニック・宮沢眼科クリニック・中静眼科医院・国際医療福祉大学塩谷病院

ご協力ありがとうございました



お し ら せ

第52回関東甲信越眼科学会開催の御案内

日 時：平成28年6月18日(土)、19日(日)
会 場：宇都宮グランドホテル
主 催：関東甲信越地区眼科医会連合会
栃木県眼科医会
会 長：栃木県眼科医会 会長 原 裕
事務局：栃木県眼科医会事務局

〒321-0151 宇都宮市西川田町929-4 (旭眼科内科クリニック内)
TEL028-611-1573 FAX028-611-1574

日程：6月18日(土)	関ブロ連絡協議会	17：00～18：30
	関ブロ健保審査委員会	17：00～18：30
	関ブロ勤務医委員会	17：00～18：30
	関ブロ男女共同参画委員会	17：00～18：30
	懇親会	18：45～20：45
6月19日(日)	学術講演および特別講演	9：00～12：00
	眼科医療従事者講習会	9：00～12：00

※ゴルフ 6月18日(土) 9：00～12：00
宮の森カントリークラブ

※観 光 6月19日(日) 13：00～16：00
蔵の街「栃木市」観光と歴史民俗資料館見学

○日眼医通信の転送を希望される方へ

現在、日本眼科医会では「日眼医通信」というメールマガジンを発行しています。
日眼医のホームページによれば「理事会速報、ホームページ更新情報、その他、会員の皆様のお役に立つ速報性のある情報提供手段」とされています。(詳しくは日眼医ホームページ参照)
メールマガジン「日眼医通信」を希望される方は下記のメールアドレスに、氏名、所属、メールアドレスを送ってください。
登録いただければ、日眼医からの日眼医通信を受け次第、転送いたします。

Eメール kouhouganka@gmail.com
栃木県眼科医会 広報担当 大柳 静香

○次号、栃木県眼科医会報49号は、来年栃木県で開催される第52回関東甲信越眼科学会の特集を組むために、平成28年10月発行となります。

会 務 日 誌

(平成26年4月～
平成27年3月)

総務

(1)定例総会開催 (1回) H26. 5. 11(日) 於：自治医大

(2)理事会開催 (6回)

第1回	H26. 5. 21(水)	於：宇都宮市医師会館
第2回	H26. 7. 16(水)	〃
第3回	H26. 9. 3(水)	〃
第4回	H26. 11. 19(水)	〃
第5回	H27. 1. 21(水)	於：宇都宮市医師会館
第6回	H27. 4. 15(水)	〃

(3)中央及び関ブロ諸会議に出席

H26. 4. 5(土)	平成26年度日眼医定例臨時代議員会 (東京)	原 (裕)、吉澤 (徹) 出席
H26. 4. 6(日)	〃	原 (裕)、吉澤 (徹) 出席
H26. 4. 6(日)	第1回日眼医代議員会総務経理合同常任委員会 (東京)	原 (裕) 出席
H26. 6. 14(土)	平成26年度第1回関ブロ支部長会議、関ブロ連絡協議会開催 (千葉市)	宮下、原 (裕)、出席
H26. 6. 14(土)	平成26年度第1回関ブロ男女共同参画委員会開催 (千葉市)	高橋 (雄)、大柳、細川出席
H26. 6. 22(日)	第2回平成26年度日眼医定例臨時代議員会 (東京)	原 (裕)、吉澤 (徹) 出席
H26. 10. 19(日)	日眼医都道府県眼科医会連絡会 (東京)	原 (裕) 出席
H27. 1. 25(日)	日眼医代議員会総務経理合同常任委員会 (東京)	原 (裕) 出席
H27. 3. 1(日)	平成26年度第2回関ブロ支部長会議、関ブロ連絡協議会 (横浜)	宮下、原 (裕)、吉澤出席

(4)第52回関東甲信越眼科学会準備委員会開催 (4回)

第1回	H26. 6. 18(水)	於：宇都宮市医師会館
第2回	H26. 8. 20(水)	〃
第3回	H26. 10. 15(水)	〃
第4回	H27. 2. 18(水)	〃

学術

(1)栃木県眼科集談会

第67回 H26. 5. 11(日) 於：自治医大 75名出席

一般演題：8題

特別講演：「iPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植：ヒト臨床試験および拒絶反応対策」

杉田 直 先生

(理化学研究所発生・再生科学総合研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト)

第68回 H26. 11. 15(金) 於：宇都宮市医師会館 74名出席

一般講演：7題

特別講演：「眼内サイトカイン濃度からみた加齢黄斑変性治療」

高橋 秀徳 先生 (自治医科大学眼科学講座講師)

(2)栃木県眼科医会研究会

第51回 H26. 6. 27(金) 於：宇都宮グランドホテル、(ノバルティスファーマと共催42名出席)

1. 「網膜静脈閉塞症の診療アップデート」
柳 靖雄 先生 (東京大学医学部眼科学教室講師)

2. 「矯正視力1. 0を目指す糖尿病黄斑浮腫の治療」
村田 敏規 先生 (信州大学医学部眼科学教室教授)

第52回 H27. 1. 16(金) 於：宇都宮グランドホテル、わかもと製薬株式会社と共催45名参加

1. 「糖尿病黄斑浮腫治療アップデート」
須藤 史子 先生 (埼玉県済生会栗橋病院眼科部長)
2. 「難治症例への小切開硝子体手術の適応」
井上 真 先生 (杏林大学眼科 (杏林アイセンター) 教授)

(3)獨協医大眼科栃眼医合同講演会

第37回 H26. 7. 25(金) 於：獨協医大 70名参加

1. 「ドライアイに潜む眼瞼痙攣」
後関 利明 先生 (北里大学メディカルセンター眼科部長)
2. 「考えよう流涙症！始めよう涙道手術！」
井上 康 先生 (医療法人眼科康誠会井上眼科理事長)

(4)栃木眼科セミナー

第22回 H27. 2. 27(金) 於：宇都宮グランドホテル、自治医大・興和創業共催、当会後援49名参加
ミニレクチャー：「24時間眼圧測定デバイス：過去、現在、未来」
原 岳 先生 (原眼科病院院長)
特別講演：「緑内障診療の現状と将来」
山本 哲也 先生 (岐阜大学大学院医学系研究科眼科学教授)

(5)下野眼科談話会

第24回 H27. 3. 27(金) 於：宇都宮グランドホテル、獨協医大主催、当会後援67名参加
特別講演1：「iPhone、iPadを使った新しいデジタルビジョンケア」
三宅 琢 先生 (東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野)
特別講演2：「OCTを併用する眼底読影の実際」
石田 恭子 先生 (東邦大学医療センター大橋病院眼科准教授)

(6)栃木県内科眼科関連疾患懇話会

第8回 H26. 10. 9(木) 宇都宮グランドホテル 61名参加
講演1：「白内障治療最前線」
小早川信一郎 先生 (日本医科大学多摩永山病院眼科准教授診療部長)
講演2：「糖尿病合併症と糖化－advancedglycationendproducts (AGEs) とは？」
麻生 好正 先生 (獨協医科大学内分泌代謝内科教授)

(7)栃木ぶどう膜炎カンファレンス

第4回 H26. 10. 3(金) 於：宇都宮グランドホテル 55名参加
特別講演「Fuchs虹彩炎の話」
藤野 裕次郎 先生 (JCHO東京都新宿メディカルセンター部長)

(8)栃眼医獨協眼科病診連携の会

第3回 H26. 10. 10(金) 於：宇都宮グランドホテル 58名参加
「眼内レンズアップデート2014」
永田 万由美 先生 (獨協医科大学眼科講師)

「白内障手術後の管理―術後炎症とNSAIDs、最近の話題―」
三宅 謙作 先生 (医療法人湘山会眼科三宅病院理事長)

(9)下野眼科診療セミナー

第7回 H26. 9. 5(金) 於：宇都宮グランドホテル 67名参加
「眼内レンズ度数計算のコツ」
須藤 史子 先生 (東京女子医大・埼玉県済生会栗橋病院眼科)
「斜視の診断治療と小児の眼屈折」
八子 恵子 先生 (北福島医療センター眼科)

医療安全対策及び福祉

(1)眼科コメディカル講習会

講習会は関東各県共同主催 (於：帝京大)

(2)栃眼医親睦ゴルフコンペ

第80回 H26. 4. 20(日) 宮の森カントリー倶楽部 10名参加
優勝：木村 雅彦 準優勝：石崎 道治
第81回 H26. 10. 26(日) 宇都宮カンツリークラブ 13名参加
優勝：関本慎一郎 準優勝：柏瀬 宗弘

(3)栃眼医忘年会開催

H26. 12. 5(金) 於：ホテルニューイタヤ 18名参加

(4)平成24年度日眼医眼科医事紛争事例調査実施

栃木県内該当0例

5. 保険関係

(1)中央及び関ブロの会議

H26. 5. 25(日) 日眼医全国審査委員連絡協議会 (東京)	木村出席
H26. 6. 14(日) 関ブロ健康保険委員会 (千葉市)	千葉出席
H26. 10. 26(日) 都道府県眼科医会健保担当理事連絡会 (東京)	井岡出席
H27. 2. 15(日) 平成26年度都道府県眼科医会介護・在宅医療担当理事連絡会 (東京)	吉澤 (徹) 出席

(2)健保研究会

H26. 5. 11(日) 栃眼医総会と同時開催 (自治医大)
H26. 11. 21(金) 集談会後開催 (宇都宮市医師会館)

(3)栃木県社保国保審査委員 (眼科) 連絡会

H26. 7. 2(水) 宇都宮市医師会館	千葉、木村、宮澤、鈴木、吉澤 (徹)、城山、井岡出席
H26. 11. 11(火) 宇都宮市医師会館	千葉、木村、宮澤、鈴木、吉澤 (徹)、城山、井岡出席

広報

(1)栃木県眼科医会報 (第47号) 発行 (平成26年6月)

(2)理事会だより (6回) 発行

(3)関ブロ会報編集委員会 H27. 2. 1(日) (横浜市) 大野出席

(4)関ブロ会報に「会長挨拶」「各県だより」「随筆」投稿

(5)ホームページ

学校保健

(1)中央の会議に出席

日眼医全国眼科学学校医連絡協議会	H26. 9. 28(日) (東京)	苗加出席
(2)栃医学校保健部会理事会	(第1回) H26. 9. 12(日) とちぎ健康の森	苗加出席
	(第2回) H27. 2. 26(木) 護国会館	苗加出席

公衆衛生

(1)栃木県眼科一次救急診療当番表を会員に送付

(2)「目の愛護デー記念行事」準備委員会(7月31日(木) 宇都宮市健康センター(ララスクエアビル9階))
提出席

(3)「目の愛護デー記念行事」(宇都宮市健康センター(ララスクエアビル9階))

H26. 10. 5(日)
14:00～15:00 目の健康講座:「加齢に伴う目の病気～白内障の予防と治療～」
獨協医科大学眼科学教室 後藤 憲仁 先生
15:00～15:30 眼科無料相談会・無料眼圧測定
相談員:高橋 康子 先生、森谷 充雄 先生、他栃眼医担当理事

(4)日本網膜色素変性症協会JRPS栃木支部医学講話

H26. 9. 28(日) 講師:加藤 健 先生

(5)献眼募金箱(栃木県アイバンク)を各眼科受付に設置し募金運動に協力

医療対策

(1)平成26年度栃木県高度管理医療機器販売管理者継続研修会(H26. 12. 7(日) とちぎ健康の森)

95名出席
講演1「医薬品医療機器等法に基づく医療機器販売業等の管理」
浦島 昌久 先生(栃木県保健福祉部薬務課薬事審査担当)
講演2「コンタクトレンズアップデート2014」
小玉 裕司 先生(日本コンタクトレンズ学会理事)

勤務医

(1)関プロおよび中央の会議に出席

H26. 6. 41(土) 関プロ勤務医委員会(千葉市) 上田出席
H26. 11. 3(月) 第15回全国勤務医連絡協議会(東京) 上田出席

(2)栃木県眼科手術談話会

第19回 H26. 5. 23(金) 於:宇都宮市医師会館52名出席

一般演題:3題

特別講演:「白内障IOL手術:囊死再生医療とIOL縫着」

徳田芳浩先生(井上眼科病院副院長)

日本眼科医連盟

(1)日眼医連盟協議委員会

H26. 10. 18(土) (東京) 原(裕)出席

(2)本年度連盟会費納入者(当県分)64名

会 員 消 息

(平成26年4月～平成27年3月)

(1)会員数(H27. 3. 31. 現在)

A会員 65名、B会員 84名、C会員 13名、M会員 8名、合計170名

(2)会員の異動

入会者:5名

C 古 藪 幸貴子(獨協医大眼科)
C 宮 島 大 河(獨協医大眼科)
C 西 田 奈 央(獨協医大眼科)
C 伊野田 悟(自治医大眼科)
C 片 岡 なつき(自治医大眼科)

転入者:5名

B 水 流 忠 彦(国際医療福祉大学眼科) 東京都より
B 齋 藤 由 香(小山市 斉藤眼科医院) 埼玉県より
B 富 永 聡 子(自治医科大学) 東京都より
B 佐々木 誠(足利赤十字病院) 神奈川県より
A 秋 草 正 子(佐野市 石井眼科医院) 東京都より

転出者:5名

B 春 野 功(国際福祉大学病院眼科) 秋田県へ
B 高 橋 佳 二(獨協医大眼科) 青森県へ
B 松 本 佳 浩(獨協医大眼科) 北海道へ
B 奥 村 義 彦(足利赤十字病院眼科) 東京都へ
B 加 藤 浩 士(足利赤十字病院眼科) 埼玉県へ

退会者:3名

A 田 口 太 郎(宇都宮市 田口眼科)
A 石 井 章 次(佐野市 石井眼科)
A 久保田 芳 雄(宇都宮市 久保田眼科)

異動者:

①会員種別の変更

B→A 関 本 慎一郎(市貝町 関本眼科医院)
A→B 関 本 俊 男(市貝町 関本眼科医院)
B→A 井 上 直 紀(大田原市 井上眼科医院)
A→B 井 上 成 紀(大田原市 井上眼科医院)

②勤務先変更

B 八 木 加寿子(上都賀総合病院眼科)
B 山 田 徹 人(なかまる眼科)
B 鈴 木 隆次郎(宇都宮市 早津眼科医院)

③自宅住所変更

B 上 田 昌 弘(国際医療福祉大学塩谷病院)
B 堤 瑛 理(国際医療福祉大学病院眼科)
B 竹 澤 美貴子(宇都宮市 伊野田眼科クリニック)

自治医科大学眼科外来診察担当者

(H27年7月現在)

	月	火	水	木	金	土
午 前	川 島 新 井 坂 本 反 田 伊野田 片 岡 高橋(良) 添 田	牧 野 井 上 渡 辺 反 田 伊野田 片 岡 高橋(良) 添 田	小 幡 佐藤(彩) 新 井 坂 本 片 岡 高橋(良) 添 田	高 橋 佐藤(彩) 渡 辺 反 田 片 岡 添 田	吉 田 富 永 坂 本 伊野田 高橋(良) ぶどう膜 川 島 網膜硝子体 高 橋 新 井	
午 後	緑内障外来 原 松 国 渡 渡 辺	角膜外来 小 幡	弱視斜視外来 牧 野	黄斑外来 高 橋 井 上 竹 澤 佐藤(彩) 富 永	弱視斜視外来 牧 野	

獨協医科大学眼科外来診察担当者

(H27年7月現在)

	月	火	水	木	金	土
午 前	妹尾 正 松島 博之 須田 雄三 永田万由美 後藤 憲仁 中村 恭子 荒川 恭子 坂東 誠	千葉 桂三 鈴木 重成 永田万由美 青瀬 雅資 渡邊 智子 石井洋次郎	松島 博之 須田 雄三 鈴木 重成 石丸 慎平 佐藤 久生 青瀬 雅資 斎藤 文信 加藤 健	千葉 桂三 石丸 慎平 斎藤 文信 中村 恭子 宮下 博行 石井洋次郎 坂東 誠	妹尾 正 高橋 佳二 後藤 憲仁 佐藤 久生 山下由佳子 宮下 博行	【交代制】 (1班) 鈴木 重成 後藤 憲仁 中村 恭子 石井洋次郎 古藪幸貴子 岡安 彬彦 (2班) 松島 博之 石丸 慎平 佐藤 久生 斎藤 文信 坂東 誠 宮島 大河 (3班) 須田 雄三 永田万由美 青瀬 雅資 宮下 博行 西田 奈央 伊藤 栄
午 後	【屈折矯正】 千葉 桂三 後藤 憲仁	【ぶどう膜】 鈴木 重成 渡邊 智子 石井洋次郎	【黄 斑】 須田 雄三 中村 恭子 坂東 誠 【未熟児網膜症】 石丸 慎平 斎藤 文信 加藤 健 【ロービジョン】 鈴木 重成	【角 膜】 千葉 桂三 石丸 慎平 中村 恭子 石井洋次郎 坂東 誠 【斜視・弱視】 早津 宏夫 宮下 博行	【前眼部解析】 松島 博之 後藤 憲仁 青瀬 雅資 斎藤 文信	

平成26年度 眼科コメディカル講習会修了証授与者（10名）

齋 藤 美 佳（たかはし眼科）	安良岡 弘 子（柏瀬眼科）
菊 池 弥 穂（たかはし眼科）	小 鮎 裕 紀（柏瀬眼科）
池 水 茉 胡（かとう眼科）	高 野 友 美（城南眼科クリニック）
増 渕 沙 織（いのき眼科クリニック）	高 橋 まどか（城南眼科クリニック）
石 川 千 草（福島眼科医院）	岡 崎 香 莉（原眼科医院）

～平成26年度 眼科コメディカル講習会～

平成26年度眼科コメディカル講習会は、平成26年1月13日第1回から始まり、5月11日に第5回講習会と、総括テストがおこなわれました。11人参加して10名が4/5以上出席し、修了証を授与されました。おめでとうございます。

表紙の言葉

鬼怒川温泉は古くは滝温泉といわれ1692年の発見（1752年説もある）とされ、諸大名や僧侶が利用したともいわれ、その後に発見された藤原温泉と合わせて鬼怒川温泉と呼ばれるようになったようです。大自然の創造した鬼怒川の渓谷美は紅葉の季節ともなれば本当に素晴らしいものです。鬼怒川港から鬼怒川大瀬までの全長6kmを船で下る鬼怒川ライン下りをぜひ一度体験をしてみてください。鬼怒川ライン下り：東武鬼怒川温泉駅より徒歩5分

文・写真 大野研一（佐野市）

栃木県眼科一次救急診療規程

(目的)

第1条 この規程は、県民の休日における眼科一次救急診療確保のために定めるものである。

(構成)

第2条 栃木県眼科医会会員のうち、基幹病院に勤務する会員を除く70歳未満の医師で構成する。

(対象日)

第3条 診療の対象日は、日曜日、祝祭日および年末年始（12月30日から1月3日）とする。

(当番目)

第4条 当番医の順番については総会で会員の承認を得て決定する。
2. 当番日の都合が悪くなった場合は、各自交代する医師を決定し、本会事務局、診療施設、タクシー会社への報告を義務とする。

(受付時間及び受付業務)

第5条 受付時間は、午前10時から午後5時とし、受付業務は当該施設事務職員が行うものとする。

(診療時間)

第6条 診療時間は、受付時間内に受付した患者の診療が完了するまでとする。

(診療室)

第7条 診察室は、NHO栃木医療センター（以下、「医療センター」という）眼科診察室とする。

(看護師および医療器具)

第8条 看護師は当該診療施設勤務の看護師とし、医療器具は当該診察室のものを使用する。

(給与)

第9条 眼科一次救急診療を行った者には、医療センターと本会の契約により、医療センター臨時医師給与規程に基づいて当該病院より給与が支給される。

(通勤手段)

第10条 通勤は、県全域すべて契約タクシーを利用する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、理事会の決議を経て決定する。

付 則 この規程は平成26年5月11日より施行する。

栃木県眼科医会選挙規程

(趣旨)

第1条 この規程は、栃木県眼科医会主催で、行われる選挙について定めるものである。

(選挙管理委員長)

第2条 会長は、選挙を公正かつ円滑に推進するため、正会員の中から選挙管理委員長を選任し理事会の承認を経て、委嘱することができる。但し、理事はこれを兼任することはできない。
2 前項の選任を行ったとき、会長は、その旨を本人に通知しなければならない。
3 選挙管理委員長は、選挙管理委員会の開閉、開票の管理及び当選人の決定その他選挙の管理に関し、必要な事務を行う。

(選挙管理委員)

第3条 選挙管理委員長は、正会員または名誉会員の中から選挙管理委員を選任し理事会の承認を経て、委嘱することができる。但し、理事はこれを兼任することはできない。
2 前項の選任を行ったとき、選挙管理委員長は、その旨を本人に通知しなければならない。

(選挙管理委員会)

第4条 選挙管理委員会は選挙管理委員長と選挙管理委員で構成される。
2 選挙管理委員会の事務局は本会事務局に置く。
3 選挙管理委員会は選挙人名簿の作成管理をする。
4 選挙管理委員会は選挙の被選挙人（以下「立候補者」という）の受付及び資格審査を行い該当立候補者に対して立候補の受理を通知する。
5 選挙管理委員会は立候補者の公示をする。
6 選挙管理委員会は立候補者が規程人数より多い場合には、選挙管理委員会名で選挙実施通知書、投票用紙及び投票用紙封入用の封筒を会員宛に送付する。投票用紙には栃木県眼科医会の印を押印する。
7 選挙管理委員会は投票用紙の管理を行う。
8 選挙管理委員会は投票の有効又は無効の判定することができる。
9 選挙管理委員会は選挙録の作成しなければならない。
10 選挙管理委員会はその他選挙に必要な事項を遂行する。

(立候補の届出)

第5条 立候補者は、選挙の告示日に正会員として在籍している者とし、別紙に定める所定の立候補届出書を選挙管理委員会に提出する。

(選挙の方法)

第6条 選挙は、選挙人の無記名投票により行う。
2 前項の投票は、選挙管理委員会が送付した所定の投票用紙による郵便投票により行う。
3 前項の郵便投票は、選挙人に投票用紙が届いた時から選挙の期日までに行い、選挙期日の消印は有効とし、期日以降の消印は無効とする。

(投票の方法)

第7条 選挙人は、立候補者のうちから、1名を投票用紙に記載し、選挙管理委員会宛に郵送する。
2 選挙管理委員会は、郵送された投票用紙を厳重管理し、投票締切日が経過した後に開封する。
3 定数を超えない場合は、立候補者を当選とし、定数を上回る場合には、得票数の多い順に定数

栃木県眼科医会会則

〈名称および事務所〉

- 第1条 本会は栃木県眼科医会と称し、公益社団法人日本眼科医会（以下、「日本眼科医会」という）と連携を持つ。
- 2 本会は事務所を会長の指定するところに置く。

〈構成〉

- 第2条 本会は栃木県内で眼科を標榜する医師にして、入会を希望し、且つ理事会の承認を得た者を以て構成する。

〈目的〉

- 第3条 本会は医道の昂揚、医学向上、地域医療の充実に寄与し、併せて会員相互の親睦及び福祉の増進を図ることを目的とし、その目的達成のために各種の事業を行う。

〈会員〉

- 第4条 本会に入会しようとする者は、別に定める入会の手続きをとらなければならない。
- 第5条 本会会員は別に定める会費及び負担金を納めなければならない。
- 第6条 会員が正当な業務上の権利を侵害され、又は名誉を毀損されたと認めるときは、これを本会に申告し、理事会の調停又は裁定を求めることができる。
- 第7条 会員が本会会員としての義務を著しく怠り、又は本会の名誉を傷つけ、若しくは目的に反する行為をしたときは、理事会の決議を経て、戒告または除名されることがある。

〈役員〉

- 第8条 本会に次の役員を置く。
- （1）会長 1名 （2）副会長 2名 （3）理事 若干名 （4）監事 2名
- 2 会長及び副会長は理事とする。
- 第9条 会長は本会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故により職務を遂行できない場合には、その職務を代行する。
- 3 理事は会長の旨を受けて会務する。
- 4 監事は会務を監査する。
- 第10条 各員の任期は2年とする。ただし重任を妨げない。
- 2 任期が満了しても後任者が職務を行うまでは、その職務を行わなければならない。
- 第11条 会長は総会において会員によって選出され、副会長、理事、監事は会長が指名、推薦又は囑託する。
- 第12条 日本眼科医会代議員及び予備代議員は選挙において選出する。ただし本会役員との重任を妨げない。
- 第13条 本会に名誉会長及び顧問を若干名を置くことができる。
- 2 名誉会長及び顧問は理事会の議を経て会長が委嘱し、任期は会長の任期とする。
- 第14条 会長が必要と認めるときは委員会を設けることができる。
- 〈会議〉
- 第15条 会議は定例総会、臨時総会、理事会及び委員会とする。
- 第16条 定例総会は毎年1回会長が召集する。臨時総会、理事会及び委員会は必要に応じて会長が召集する。

の枠に達するまでの者を選任する。ただし、同数の場合は、選挙管理委員長が定める方法による。

（開票立会人）

- 第8条 選挙管理委員長は、予め正会員の中から開票立会人5人以内を指名し、開票に立ち合わせるることができる。ただし、立候補者は開票立会人になることはできない。

（無効投票）

- 第9条 次の投票を無効とする。
- （1）正規の投票用紙を用いないもの、又は所定の記載方法によらないもの。
- （2）前項以外の事項は、選挙管理委員会が、開票立会人の意見を聞き、有効・無効を判定する。

（開票）

- 第10条 開票は、選挙管理委員会の指揮監督の下において、開票立会人が立会って行う。
- 2 選挙管理委員会は、投票総数を確認し、有効投票数を確定する。
- 3 無効投票の判定は、前条に基づき選挙管理委員長が行う。
- 4 選挙管理委員は、開票結果を開票録に記載し、選挙管理委員長に報告する。

（当選者の決定）

- 第11条 選挙管理委員長は、開票録に基づき、当選者を決定する。

（選挙結果の告示）

- 第12条 選挙管理委員長は、前条の決定に基づき、当選者の確定後直ちに、本人に当選の告知を行い、就任を要請する。
- 2 選挙管理委員長は、正会員に対し、前項の選挙結果及び当選者を本会ホームページ及び直近に発行する理事会だより、会報に掲載し報告する。

（選挙録の作成及び保存）

- 第13条 選挙管理委員長は、選挙の経過及び結果を記載した選挙録を、開票録を添えて会長に提出する。会長はこれを5年間保存しなければならない。

（選挙の無効）

- 第14条 選挙は、この規程に違反することがあって、選挙の結果に異動を生じるおそれがある場合に限り無効とする。ただし、当選に異動を生ずるおそれのない者を区分することができるときは、その者に限り当選の効力を失うことはない。

（雑則）

- 第15条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、理事会の決議を経て決定する。

付則 本規程は、平成26年5月11日より施行する。

- 第17条 総会は、会員の過半数が出席しなければ成立しない。但し、委任状を提出した者は出席とみなす。
- 2 総会の議長は、会議出席者の立候補により決定する。立候補者の無き場合には、会長が指名することができる。
- 第18条 総会の議決は出席会員の過半数の同意を要する。
- 第19条 次の事項は総会の承認又は議決を経なければならない。但し臨時急施を要する場合はこの限りではない。
- (1) 収支決算及び予算
 - (2) 事業報告及び事業計画
 - (3) 会費の賦課、徴収方法
 - (4) 会則の改正
 - (5) その他総会の決議を要すると理事会が認めた事項

〈会計〉

- 第20条 本会の経費は、入会金、会費、負担金、寄付金及びその他収入を以てあてる。
- 第21条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月に終わる。
- 〈雑則〉
- 第22条 会務執行上必要ある事項は別に施行細則を設けることができる。
- 第23条 本会則の変更は、総会の議決を経なければならない。

- 付則 本会則は、平成2年4月16日より施行する。
- 本会則は、平成24年4月15日一部改訂
- 本会則は、平成26年5月11日一部改訂

○ご投稿のお願い

会報編集委員会では。会員の先生方の原稿を募集しております。随筆・旅行記・ご意見・趣味の話など楽しい原稿をお待ちしております。原稿に写真を添えることも可能です。カラー写真で寄稿されてもモノクロ印刷になることがあります。あらかじめご了承ください。

○原稿送り先

〒329-0507 下野市文教2-7-14
大柳内科・眼科（内）
栃木県眼科医会報編集委員会
大柳静香
TEL 0285-51-2400
FAX 0285-51-2900
Eメール kouhouganka@gmail.com
パソコンをお使いの方は、データでのご投稿を歓迎します。

○原稿〆切

常時受け付けております。
但し、第49号の〆切は5月末日です。

○栃木県眼科医会ホームページ
<http://www.tochigan.org>



広報 大野 研一
(佐野市)

○編集後記

私が栃木県眼科医会報の編集に携わるようになってから7年たちました。毎年編集作業が佳境に入ってくると原稿の集まり具合が気になってくるのですが、幸い原稿は期日までに揃ってくるのですがほとんどでした。このことは会員の皆様の意識と結束力の表れであると思いますし、編集作業を続けるモチベーションになったと思います。

次号より編集の主体は私から大柳先生に移ります。

引き続き会員の皆様の会報誌作成へのご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

随筆欄では蘇 沽訓先生が台湾の夜市についてその魅力を語ってくれました。

最後に栃木県眼科医会の進歩、発展に多大な寄与、貢献をされました、久保田芳雄先生、田口太郎先生、石井章次先生のご冥福をお祈り申し上げます。

お忙しい中、各種委員会報告、学術欄に原稿をお寄せ下さった会員の皆様のおかげを持ちまして第48号栃木県眼科医会報が出来ましたことを厚く御礼申し上げます。
(大野研一)

編 集 委 員

委員長 大野 研 一
委員 小 幡 博 人
後 藤 憲 仁
旭 英 幸
大 柳 静 香
早 津 宏 夫

栃木県眼科医会報（第48号）

発行日：平成27年6月30日
発行所：栃木県眼科医会
〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田町9-29-4
旭眼科内科クリニック内
発行人：栃木県眼科医会
原 裕
印刷所：株式会社ヤスノプランニング
〒321-0151 宇都宮市西川田町1092



ドライアイ治療剤(ムチン産生促進剤)

薬価基準収載

ムコスタ®点眼液UD2%

Mucosta® ophthalmic suspension UD2%

レバミビド懸濁点眼液

◇効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。



製造販売元

大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先

大塚製薬株式会社 医薬情報センター
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

〈'12.10作成〉



プロスタグランジンF_{2α}誘導体
緑内障・高眼圧症治療剤

薬価基準収載

キサラタン®点眼液0.005%

Xalatan® Eye Drops 0.005%

ラタノプロスト点眼液

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

緑内障・高眼圧症治療剤

薬価基準収載

ザラカム®配合点眼液

Xalacom® Combination Eye Drops

ラタノプロスト・チモロールマレイン酸塩配合

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。



製造販売

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

資料請求先：製品情報センター

XCM72F010A

2015年5月作成

PF Preservative Free

防腐剤を含まないマルチドーズ点眼薬

健保適用

緑内障・高眼圧症治療剤

ラタノプロストPF点眼液 0.005%「日点」
ラタノプロスト点眼液

緑内障・高眼圧症治療剤

イソプロピルウンプロストン
PF点眼液 0.12%「日点」

イソプロピル ウンプロストン点眼液

持続性 緑内障・高眼圧症治療剤

レボブノロール塩酸塩 PF点眼液 0.5%「日点」
レボブノロール塩酸塩点眼液

緑内障・高眼圧症治療剤

チモレート®PF点眼液 0.25%・0.5%
チモロールマレイン酸塩点眼液

緑内障・高眼圧症治療剤

ブロキレート®PF点眼液 1%・2%
カルテオロール塩酸塩点眼液

緑内障・高眼圧症治療剤

ニブラジロールPF点眼液 0.25%「日点」
ニブラジロール点眼液

角結膜上皮障害治療剤

ヒアルロン酸ナトリウム
PF点眼液 0.1%「日点」
精製ヒアルロン酸ナトリウム点眼液

アレルギー性結膜炎治療剤

トラメラス®PF点眼液 0.5%
トラニラスト点眼液

アレルギー性結膜炎治療剤

クモロール®PF点眼液 2%
クロモグリク酸ナトリウム点眼液

アレルギー性結膜炎治療剤

ケトチフェンPF点眼液 0.05%「日点」
ケトチフェンフマル酸塩点眼液

眼科用非ステロイド性抗炎症剤

シクロスター®PF点眼液 0.1%
ジクロフェナクナトリウム点眼液

眼科・耳鼻科用合成副腎皮質ホルモン製剤

リンベタPF眼耳鼻科用液 0.1%
ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム眼耳鼻科用液

※効能・効果、用法・用量、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

【資料請求先】(Vitten) 製造販売元 株式会社日本眼薬研究所 営業本部学術部学術課 名古屋市南区桜本町40番地の2 〒457-0038 (2011年6月作成)



眼科手術補助剤、硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤 <トリアムシノロンアセトニド>製剤

処方箋医薬品（注意 — 医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

マキュエイド®硝子体内注用40mg

MaQaid® intravitreal injection 40mg

本剤の「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等の詳細につきましては製品添付文書をご参照下さい。

※資料請求先 わかもと製薬株式会社 医薬学術部

製造販売元

(輸入品)



わかもと製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号

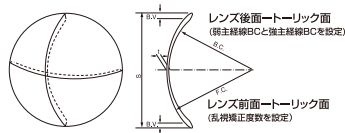
2014.11.K

様々な乱視症例に対応する 乱視矯正用 RGP & ソフトコンタクトレンズ アイミートーリック

瞳に合わせて設計する
オーダーメイド乱視用RGPコンタクトレンズ

強度角膜乱視矯正用

アイミー サプリーム・
バイトーリック



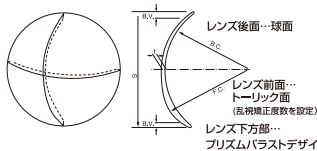
フィッティング不良から生じる種々のトラブル(ズレ・脱落・充血・ステイニング・視力不安定等)を緩和し、快適な終日装用を実現するレンズです。

■製作範囲

項 目	製作範囲
ベースカーブ(mm)	6.00～9.00(0.05ステップ)
球面度数(D)	+10.00～-25.00(0.25ステップ)
乱視度数(D)	-1.00～-12.00(0.25ステップ)
乱視軸度	指定不要
サイズ(mm)	8.0～11.0(0.1ステップ)

残余乱視(水晶体乱視)矯正用

アイミー サプリーム・
フロントーリック



ハードレンズで視力矯正を行うことにより残余乱視(水晶体乱視)が発生し、良好な視力が得られない場合に対応します。

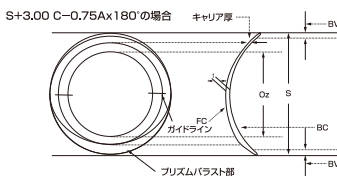
■製作範囲

項 目	製作範囲
ベースカーブ(mm)	6.50～9.00(0.05ステップ)
球面度数(D)	+3.00～-25.00(0.25ステップ)
乱視度数(D)	-0.50～-2.00(0.25ステップ)
乱視軸度	5°～180°(5°ステップ)
サイズ(mm)	8.0～11.0(0.1ステップ)

遠視性乱視から強度近視性乱視まで、
幅広い乱視矯正に対応する

遠視性乱視(～弱度近視性乱視)用デザイン

アイミー
ソフトーリック



ターニング方式加工技術により中心厚が厚くなりながらちな度数ゾーンを薄型化。満足度の高い視力矯正と快適な終日装用を実現します。

■製作範囲

項 目	製作範囲
ベースカーブ(mm)	8.00～10.00(0.40ステップ)
球面度数(D)	+3.00～-20.00(0.25ステップ)
乱視度数(D)	-0.50～-5.00(0.25ステップ)
乱視軸度	5°～180°(5°ステップ)
サイズ(mm)	13.0～14.5(0.5ステップ)

見る喜びを大切にしたい
Aime

製品に対するお問い合わせは

0120-131-469

受付時間
9:00～17:00
月～金(祝日を除く)

アイミー株式会社
<http://www.aime.jp/>

Trust and Safety

マークには信頼と安全の
思いが込められています。

角結膜上皮障害治療用点眼剤 〔薬価基準収載〕

ヒアルロン酸ナトリウム 点眼液0.1%「TS」
ヒアルロン酸ナトリウム 点眼液0.3%「TS」

精製ヒアルロン酸ナトリウム点眼液



効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については添付文書をご参照下さい。

テイカ製薬株式会社
Teika Pharmaceutical Co., Ltd.

〒930-0982 富山県富山市荒川1-3-27 TEL.076-431-1717 FAX.076-431-6707
<http://www.teika.co.jp> [資料請求先 テイカ製薬株式会社 医薬営業部]

Woofy(ウーフィー)
テイカ製薬イメージキャラクター
2015.05



クーパービジョン・ジャパン株式会社
www.coopervision.jp

「見る」という日々の経験を、
もっと素敵なものに。

この思いを大切に、アイケアプロフェッショナルの皆様にご評価いただける
ユニークでより良いコンタクトレンズの開発にチャレンジを続けています。

Proclear® 1 day
プロクリア® ワンデー



※登録番号 2220002Z01462000 (1箱30枚入)
販売名 プロクリア ワンデー

Biofinity®
バイオフィニティ®



※登録番号 2220002Z000714A01 (1箱6枚入)
販売名 バイオフィニティ

コンタクトレンズの処方役立つ情報をご提供させていただきます。

クーパービジョン プロフェッショナル

検索

・コンタクトレンズは高度管理医療機器です。眼科医による検査、処方をお願いします。特に異常を感じなくても定期検査は必ず受けるようにご指導ください。
・患者さんがコンタクトレンズを使用する前に、必ず添付文書をよく読み、取扱い方法を守り、正しく使用するようにご指導ください。

Vision One

マルチカラーレーザ光凝固装置



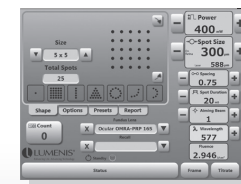
**Array™
LaserLink™**

Array レーザリンクデリバリーシステム

Now ready to shift to the
next stage **with Array**

Versatility

多彩なスキャンパターンはあらゆる
症例に対応します



**More Colors ;
More Choices**

必要な波長(カラー)を、
必要なときに

一般的名称: 眼科用レーザー光凝固装置
販 売 名: Vision One マルチカラーレーザー光凝固装置
承認番号: 22400BZX00353000

Lumenis®
Energy to Healthcare

製造販売業者 **株式会社 日本ルミナス**

本社 〒140-0014 東京都品川区大井1-14-3 K-3ビル 5F TEL: 03-4431-8300 FAX: 03-4431-8301
オペレーションセンター 〒135-0064 東京都江東区青海4-4-18 TACS TEL: 03-4431-8310 FAX: 03-4431-8311
E-mail: ophlaser.japan@lumenis.com URL: <http://www.lumenis.co.jp>

HEIWA
IYOU SHOKAI

株式会社 平和医用商会

営業案内

代表取締役 柳 瀬 信 也

- 眼科用医療器械・器具・備品
眼内レンズ・消耗品全般取扱い
- 眼科光学器械の修理
- 眼科一般開業設備 一式

本 社

〒331-0825 埼玉県さいたま市北区櫛引町2-185-6
TEL:048-664-1503 FAX:048-652-5744

宇都宮営業所

〒321-0153 栃木県宇都宮市北若松原2丁目9番5号
TEL:028-655-5527 FAX:028-655-5528

東京営業所

〒175-0094 東京都板橋区成増2-10-3-107
TEL:03-6904-1360 FAX:03-6904-1362

本郷営業所

〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-24-702
TEL:03-5842-3501 FAX:03-5842-3502

高崎営業所

〒370-0062 群馬県高崎市稲荷町32-204
TEL:027-365-2490 FAX:027-365-2491

新潟営業所

〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山5-14-77 A-102
TEL:025-250-5707 FAX:025-250-5710



JQA-QMA12113
本社認証取得

<http://www.heiwaiyou.co.jp/>



コンフォートなままに
より確かな眼圧下降、涙液に近いpH

AZORGA.

炭酸脱水酵素阻害剤/β遮断薬配合
緑内障・高眼圧症治療剤

薬価基準収載

アゾルガ® 配合懸濁性点眼液

プリンゾラミド/チモロールマレイン酸塩配合懸濁性点眼液

処方せん医薬品：注意－医師等の処方せんにより使用すること

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1) 気管支喘息、又はその既往歴のある患者、気管支痙攣、重篤な慢性閉塞性肺疾患のある患者[β-受容体遮断による気管支平滑筋収縮作用により、喘息発作の誘発・増悪がみられるおそれがある。]
- (2) コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(II、III度)、心原性ショックのある患者[β-受容体遮断による陰性変時・変力作用により、これらの症状を増悪させるおそれがある。]
- (3) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (4) 重篤な腎障害のある患者[使用経験がない。プリンゾラミド及びその代謝物は、主に腎より排泄されるため、排泄遅延により副作用があらわれるおそれがある。]

【効能・効果】

次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症

<効能・効果に関連する使用上の注意> 単剤での治療を優先すること。

【用法・用量】

1回1滴、1日2回点眼する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 肺高血圧による右心不全のある患者[β-受容体遮断による陰性変時・変力作用により、症状を増悪させるおそれがある。]
- (2) うっ血性心不全のある患者[β-受容体遮断による陰性変時・変力作用により、症状を増悪させるおそれがある。]
- (3) 糖尿病性クетоアシドーシス及び代謝性アシドーシスのある患者[アシドーシスによる心筋収縮力の抑制を増強するおそれがある。]
- (4) コントロール不十分な糖尿病のある患者[低血糖症状をマスクすることがあるので血糖値に注意すること。]
- (5) 肝障害のある患者[使用経験が少なく、安全性は確立していない。]
- (6) 角膜炎(角膜上皮細胞の減少等)のある患者[安全性は確立していない。角膜上皮細胞数の減少により角膜浮腫の発現が増加する可能性がある。]

2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は1mL中にプリンゾラミド10mgとチモロールマレイン酸塩6.8mg(チモロールとして5mg)を含む配合点眼液であり、プリンゾラミドとチモロールマレイン酸塩双方の副作用が発現するおそれがあるため、適切に本剤の使用を検討すること。
- (2) 本剤は点眼後、全身的に吸収されるため、スルホンアミド系薬剤又はβ-遮断剤全身投与時と同様の副作用があらわれるおそれがあるため注意すること。重篤な副作用や過敏症の兆候があらわれた場合には、投与を中止すること。
- (3) 縮瞳剤からチモロールマレイン酸塩製剤に切り替えた場合、縮瞳作用の消失に伴い、屈折調整を必要とすることがあることから、本剤投与の際も注意すること。
- (4) 急性閉塞隅角緑内障患者に対して本剤を用いる場合には、薬物治療以外に手術療法などを考慮すること。

(5) 本剤の点眼後、一時的に目がかすむことがあるので、機械類の操作や自動車等の運転には注意させること。

3. 相互作用

本剤の配合成分であるプリンゾラミドは、主としてCYP3A4によって代謝され、またCYP2A6、CYP2B6、CYP2C8、CYP2C9によっても代謝される。一方の配合成分であるチモロールは、主としてCYP2D6によって代謝される。

【併用注意】(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
アドレナリン ジビペリン塩酸塩	散瞳作用が助長されたとの報告がある。	機序不明
カテコールアミン 枯渇剤：レセルピン等	交感神経系に対し、過剰の抑制を来すことがあり、低血圧、徐脈を生じ、眩暈、失神、起立性低血圧を起こすことがある。	カテコールアミンの枯渇を起こす薬剤は、β-遮断作用を相加的に増強する可能性がある。
β-遮断剤(全身投与)： アテノロール プロプラノロール 塩酸塩メトプロロール	眼圧下降あるいはβ-遮断剤の全身的な作用が増強されることがある。	作用が相加的にあらわれることがある。
カルシウム拮抗剤： ベラパミル塩酸塩 シルチアゼム塩酸塩	房室伝導障害、左室不全、低血圧を起こすおそれがある。	相互に作用が増強される。
ジギタリス製剤： ジゴキシン ジギトキシン	心刺激伝導障害(徐脈、房室ブロック等)があらわれるおそれがあるため、心機能に注意する。	相加的に作用(心刺激伝導抑制作用)を増強させる。
CYP2D6 阻害作用を有する薬剤： キニジン 選択的セロトニン 再取り込み阻害剤	β-遮断作用(例えば心拍数減少、徐脈)の増強が報告されている。	これらの薬剤はチモロールの代謝酵素であるP450(CYP2D6)を阻害し、チモロールの血中濃度が上昇する可能性がある。
炭酸脱水酵素阻害剤 (全身投与)： アセタゾラミド等	炭酸脱水酵素阻害剤の全身的な作用に対して相加的な作用を示す可能性があるため、異常が認められた場合には、投与を中止すること。	作用が相加的にあらわれる可能性がある。
アスピリン (大量投与)	本剤を大量のアスピリンと併用すると、双方又は一方の薬剤の副作用が増強されるおそれがあるため、異常が認められた場合には、投与を中止すること。	アスピリンは炭酸脱水酵素阻害剤の血漿蛋白結合と腎からの排泄を抑制し、炭酸脱水酵素阻害剤は血液のpHを低下させ、サリチル酸の血漿から組織への移行を高める可能性がある。

注)注意－医師等の処方せんにより使用すること

4. 副作用

国内で実施された第Ⅲ相臨床試験において、副作用は432例中46例(10.6%)に認められた。主な副作用は眼刺激15例(3.5%)、点状角膜炎14例(3.2%)、味覚異常6例(1.4%)であった。

- (1) 重大な副作用 次のような副作用が発現するおそれがあるため、症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 1) 眼類天疱瘡(頻度不明)：結膜充血、角膜上皮障害、乾性角結膜炎、結膜萎縮、睫毛内反、眼瞼球癒着等が発現することがある。
 - 2) 気管支痙攣、呼吸困難、呼吸不全(いずれも頻度不明)
 - 3) 心ブロック、うっ血性心不全、脳出血、心停止、脳血管障害(いずれも頻度不明)
 - 4) 全身性エリテマトーデス(頻度不明)

- その他詳細は製品添付文書をご参照ください。
- 禁忌を含む使用上の注意の改訂には十分ご注意ください。

Alcon®

製造販売元(輸入元)
(文献請求先・製品情報お問い合わせ先：メディカル統括部学術情報部 0120-825-266)

日本アルコン株式会社

a Novartis company

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-7

PMP232-1
201404

© 2014 Novartis

見える感動。

国産乱視用ワンデー ついに登場。

シート1dayPure
シート ワンデーピュア
うるおいプラス 乱視用



承認番号：22100BZX00759000

高い軸安定で、カンタン処方
優れた視力矯正力
良好な装用感

高い軸安定で、カンタン処方



上部スラプオフ

装用感向上とともに、プリズムバラストの効果をも最大限に発揮させるため、度数に応じてレンズ上部を薄くならかに仕上げています。

プリズムバラストデザイン

レンズ下方に適度な厚みを持たせるプリズムバラストデザインを採用。瞬目によって、厚みのあるレンズ下方を上眼瞼が押し下げることで、レンズの回転を抑制します。

ベースカーブ	8.8mm
球面度数	±0.00D ~ -6.00D (0.25DSTEP) -6.50D ~ -10.00D (0.50DSTEP)
1箱枚数	32枚

直径	14.2mm
円柱度数	-0.75D, -1.25D, -1.75D※
円柱軸	180°, 90°, 20°, 160°

※円柱度数 -1.75D は円柱軸 180° のみ
最新の規格についてはお問い合わせください。

SEED 株式会社 シード 本社

〒113-8402 東京都文京区本郷2-40-2
TEL 03-3813-1111(代)

シードホームページ
<http://www.seed.co.jp>

iSert® Micro シリーズ

極小切開対応プリロード



※CGによるイメージにつき、
実物とは異なります。

1アクション挿入を強力サポート
コンパクトな両ループ自動タッキング機構

極小切開とプリロードの両立
簡便・清潔・低侵襲な手術をバックアップ

幅広いニーズに対応
トーリックと非球面、着色・非着色をラインナップ

iSert® Micro Clear

非着色非球面IOL搭載
モデル名：254



販売名 HOYA アイサート Micro Clear
承認番号 22300BZX00262000

iSert® Micro

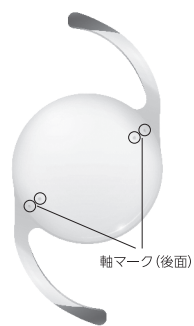
着色非球面IOL搭載
モデル名：255



HOYA アイサート Micro
22200BZX00615000

iSert® Micro Toric

着色トーリックIOL搭載
モデル名：355T3,355T4,355T5



HOYA アイサート Micro Toric
22600BZX00003000

HOYA Surgical Optics

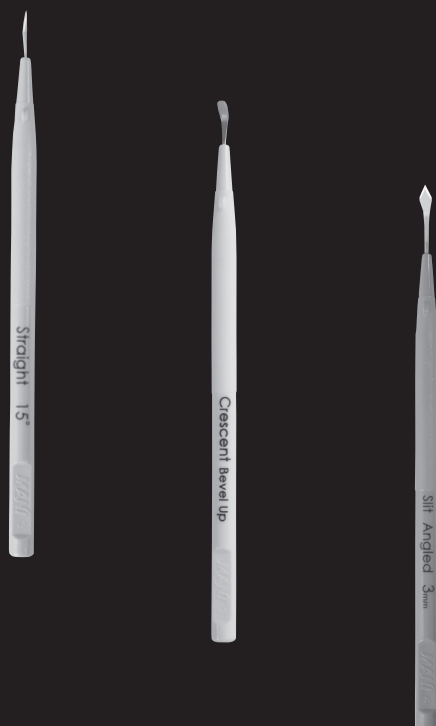
HOYA株式会社 メディカル事業部

お問い合わせ先：関東営業所
〒164-8545 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス 6F
TEL 03-5913-2341

製造販売元：
HOYA株式会社
東京都新宿区中落合 2-7-5

HOYA
SURGICAL OPTICS

2015-01-19_H50J_1P lenses_AD_JP_01



The Ultimate in Sharpness 究極の切味

マニーハードファイバーステンレスによるクロスラップエッジが、究極の切味を生み出します。
The crosslapped edge made of MANI's original hard fiber stainless steel produces the ultimate in sharpness.



世界一の品質を世界のすみずみへ

MANI®

MANI®
MANI, INC. マニー株式会社

〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 8-3
お問い合わせ先 【眼科営業課】 TEL 028-667-9911
FAX 028-667-6177

8-3 KIYOHARA INDUSTRIAL PARK, UTSUNOMIYA, TOCHIGI, 321-3231, JAPAN
Phone: +81286677565 Fax: +81286676177